

令和3年度第12回 県政インターネットモニターアンケート

観光を取り巻く環境の変化における県民の意識アンケート

南海トラフ地震についての県民意識調査－巨大地震についての基本的な考え方

※グラフの中の「n」は、各設問の回答者総数を示す。

※各回答項目の割合(%)は、端数処理の関係上(小数第二位を四捨五入)、合計が100%にならない場合がある。

○観光を取り巻く環境の変化における県民の意識アンケート

観光の発展は、国内外からの交流人口の拡大により、地域産業の活性化や雇用創出などの経済的効果に加え、異なる価値観の尊重や国際的な相互理解の促進、地域への愛着や誇りの醸成など、多岐に渡り大きな効果が期待できます。

新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けた観光産業の早期回復と、将来的な本県観光の持続的な発展に向けて、県民の旅行状況や旅行者の受け入れに対する意識などを把握することにより、今後の観光施策の参考とさせていただきたいので、御協力をお願いします。

○南海トラフ地震についての県民意識調査－巨大地震についての基本的な考え方

静岡県から西日本にかけての広い範囲で大きな被害が想定される「南海トラフ地震」はいつ起きてもおかしくないと言われています。

県では、県民の皆様の巨大地震に対する考え方や日頃の備えなどについてお伺いし、今後の防災啓発事業を進めていく上での参考にさせていただきたいと考えております。

調査は「①巨大地震についての基本的な考え方」と「②巨大地震に対する備え」の2回に分けてお聞きします。今回は「巨大地震についての基本的な考え方」についてお聞きします。

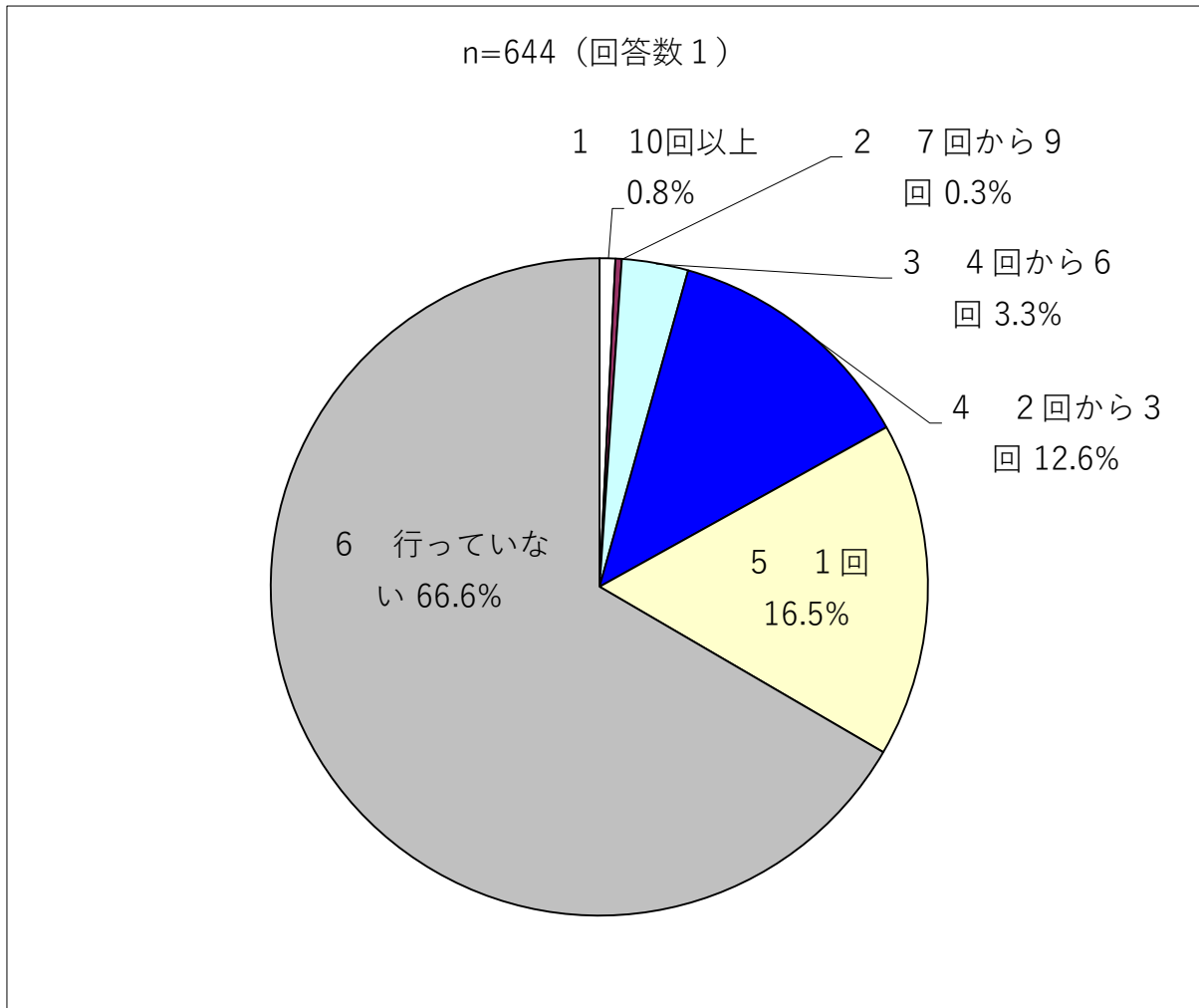
お忙しいところ恐れ入りますが、趣旨を御理解いただき、本調査への御協力をお願いします。

※「巨大地震に対する備え」は、次回(第13回)のアンケートでお聞きします。

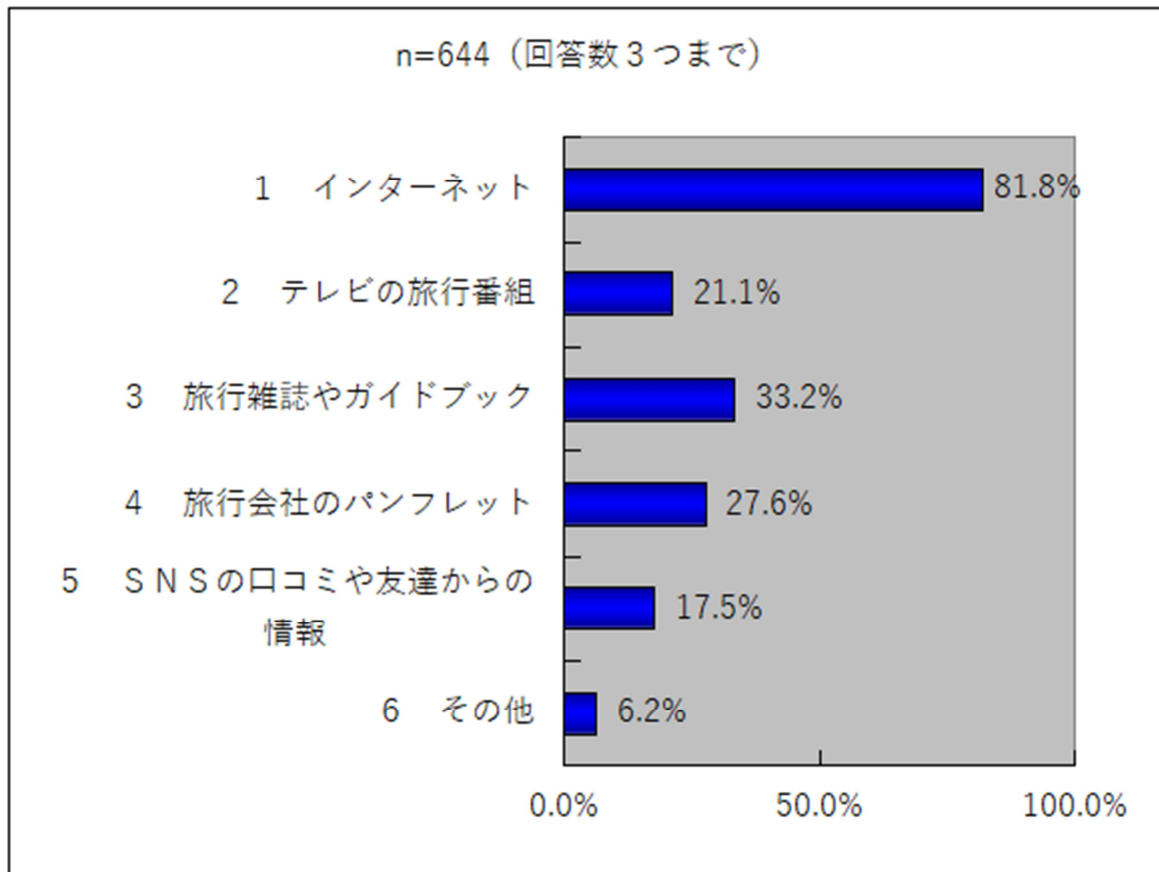
回答者数：644人（回答率：84.0%）			
	カテゴリー名	回答者数	%
性別	男性	293	45.5%
	女性	349	54.2%
	その他	2	0.3%
年代	10代	7	1.1%
	20代	15	2.3%
	30代	83	12.9%
	40代	147	22.8%
	50代	163	25.3%
	60代	113	17.5%
	70代	93	14.4%
	80代	23	3.6%
	90代	0	0.0%
住所	賀茂	8	1.2%
	東部	200	31.1%
	中部	231	35.9%
	西部	205	31.8%
	県外	0	0.0%
職業	自営業	35	5.4%
	会社員	216	33.5%
	公務員	13	2.0%
	パート・内職従事者	121	18.8%
	学生	14	2.2%
	無職	213	33.1%
	その他	32	5.0%

○観光を取り巻く環境の変化における県民の意識アンケート

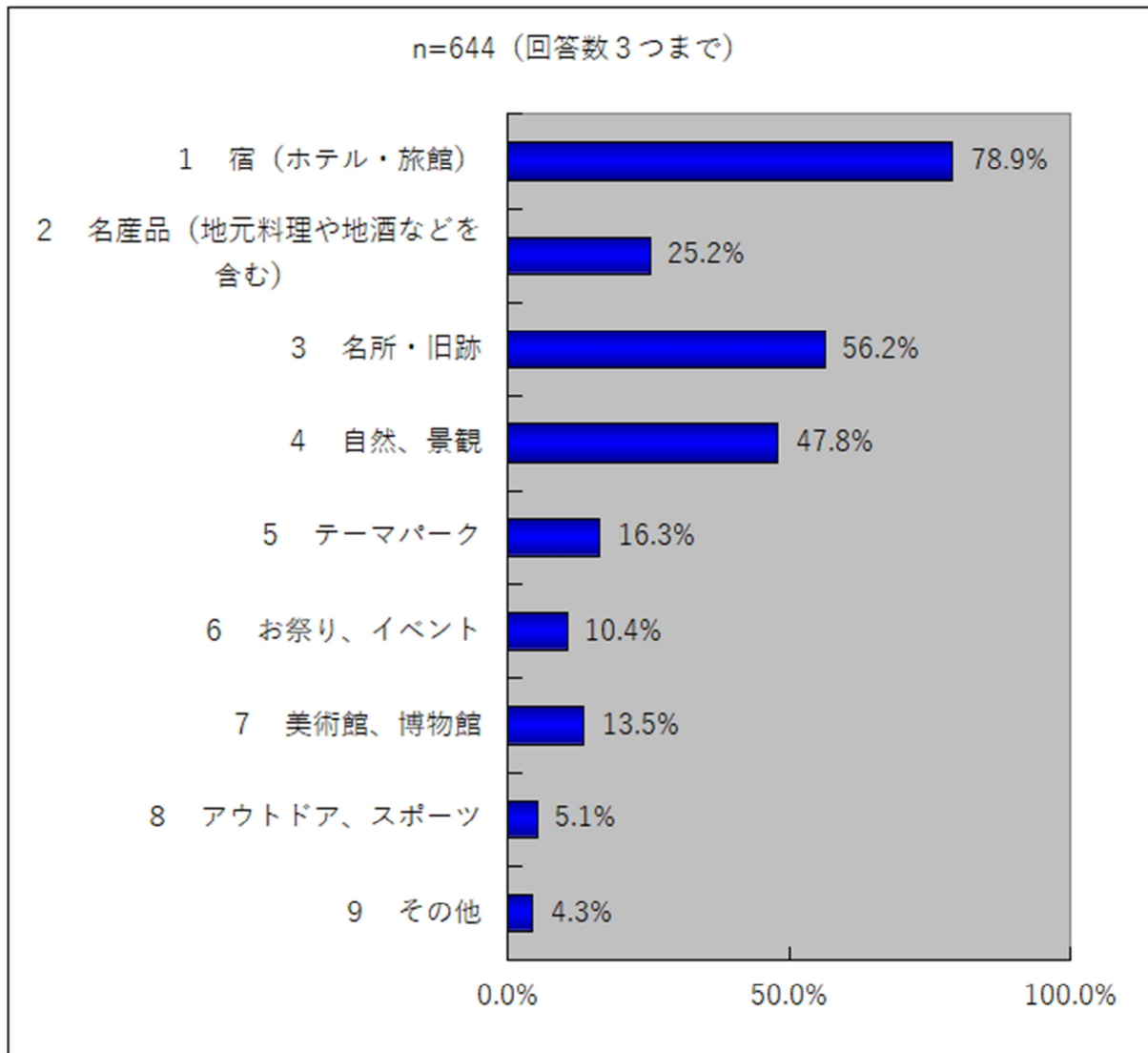
問1 令和2年1月から12月までの1年間に、宿泊を伴う旅行に、どの程度行きましたか。(回答数は1つ)



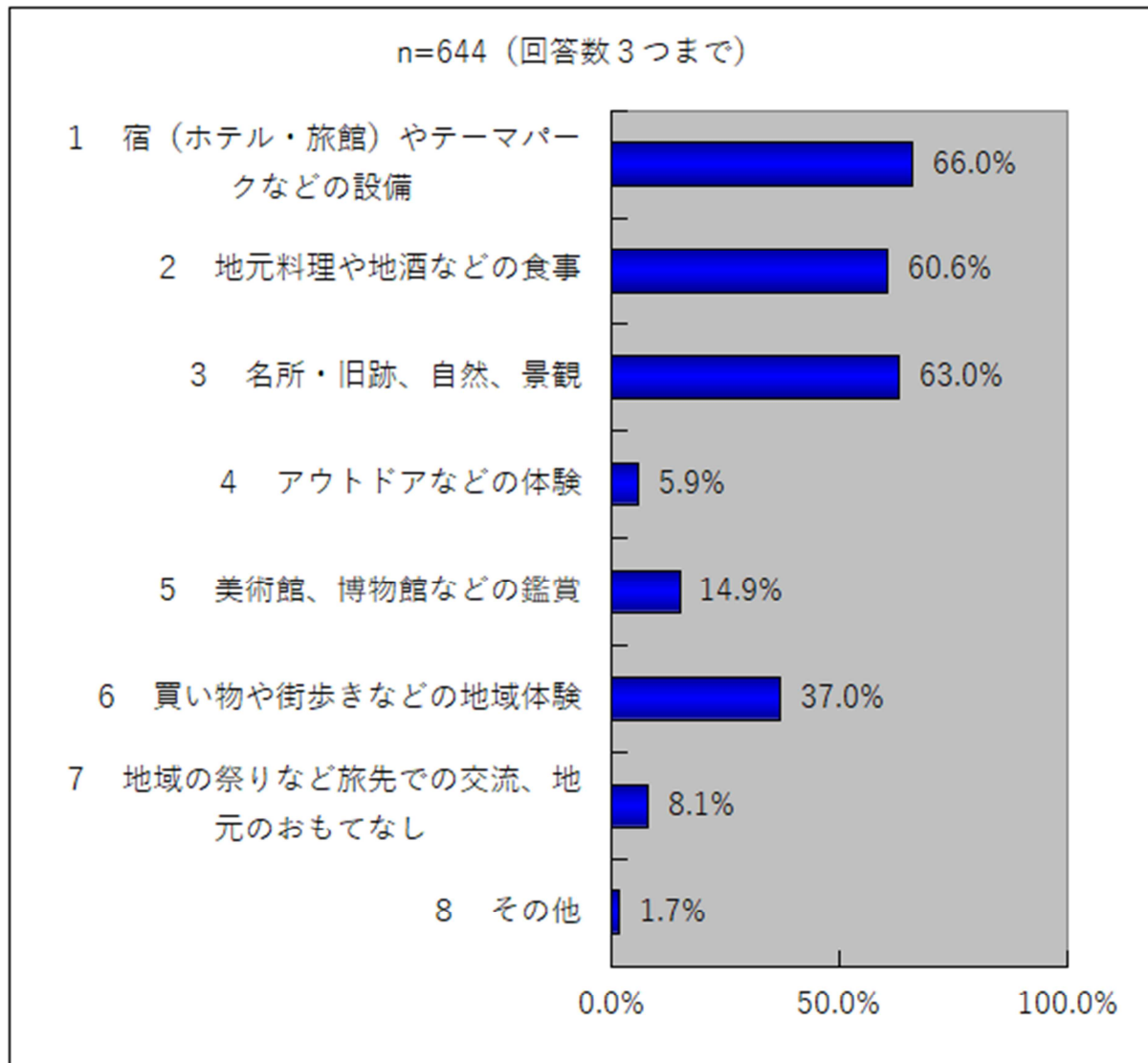
問2 旅行先をどのように探しますか。(回答数は3つまで)



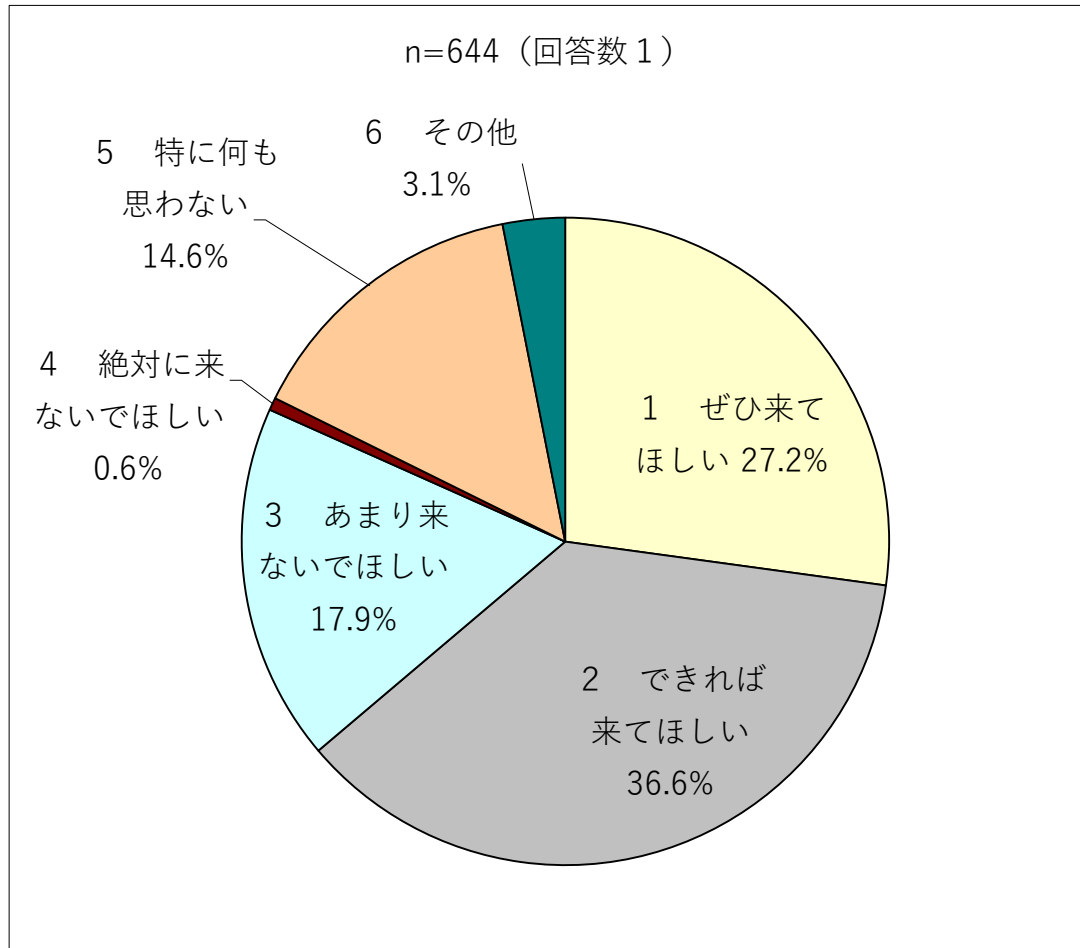
問3 旅行先を選ぶときに、料金以外にどのようなことを重視しますか。(回答数は3つまで)



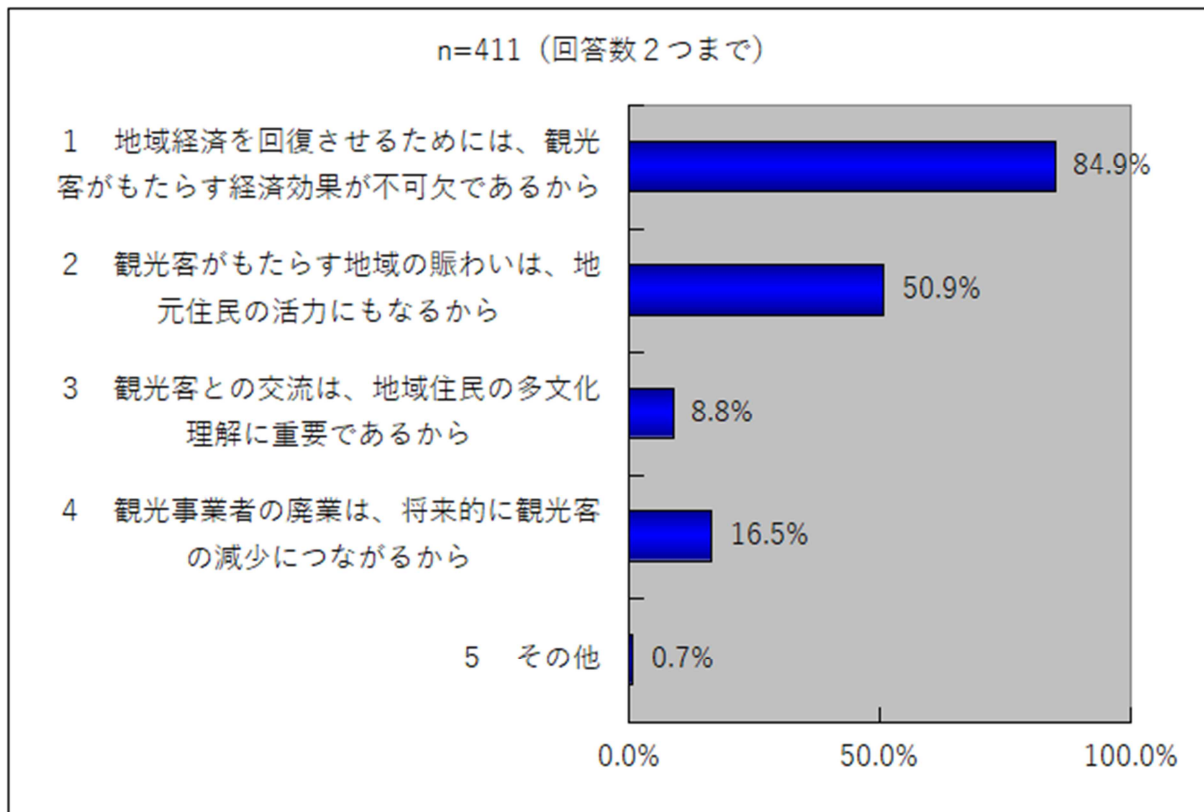
問4 旅行先でどのようなことが印象に残りますか。(回答数は3つまで)



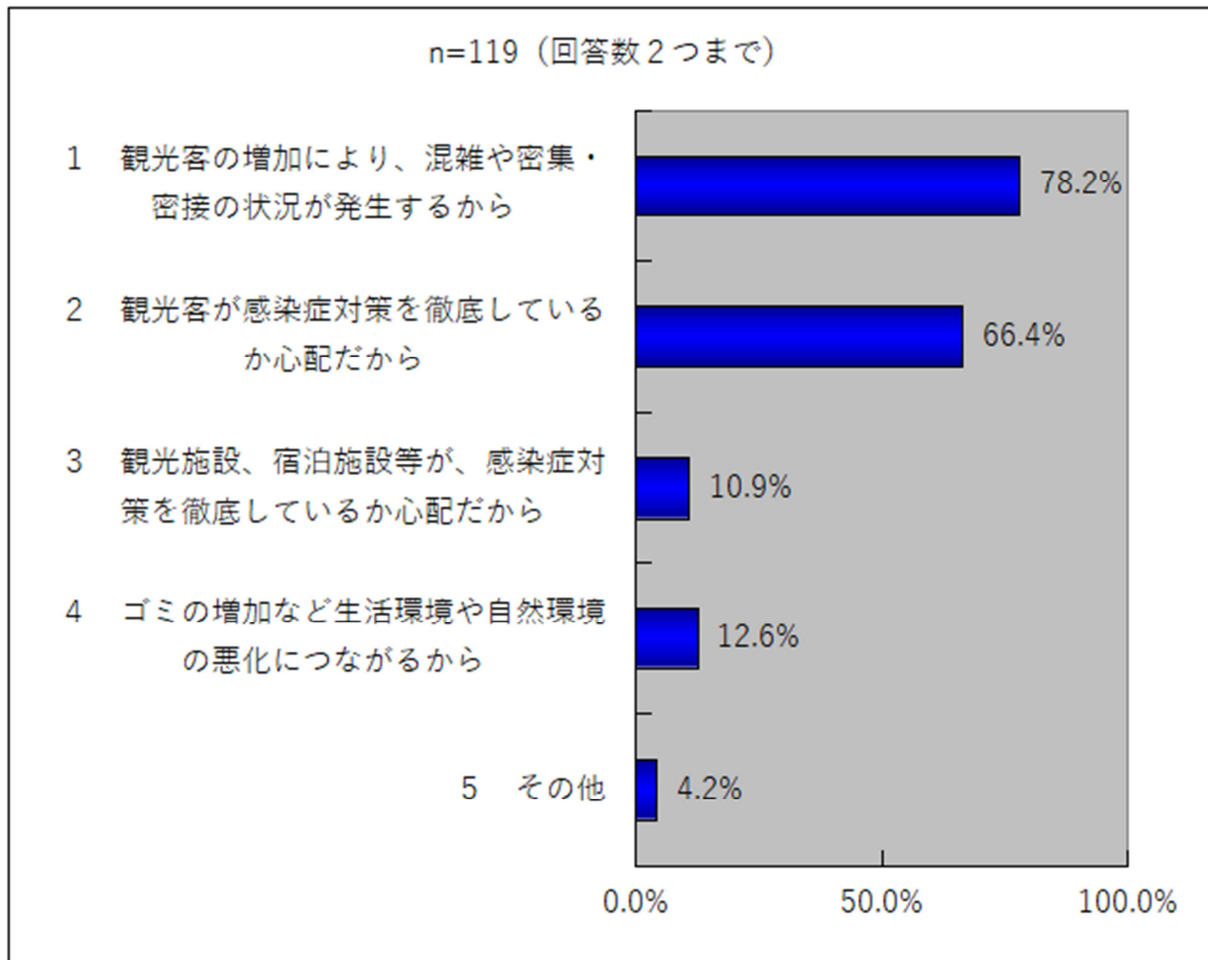
問5 観光客の受入について、どのように考えますか。
(回答数は1つ)



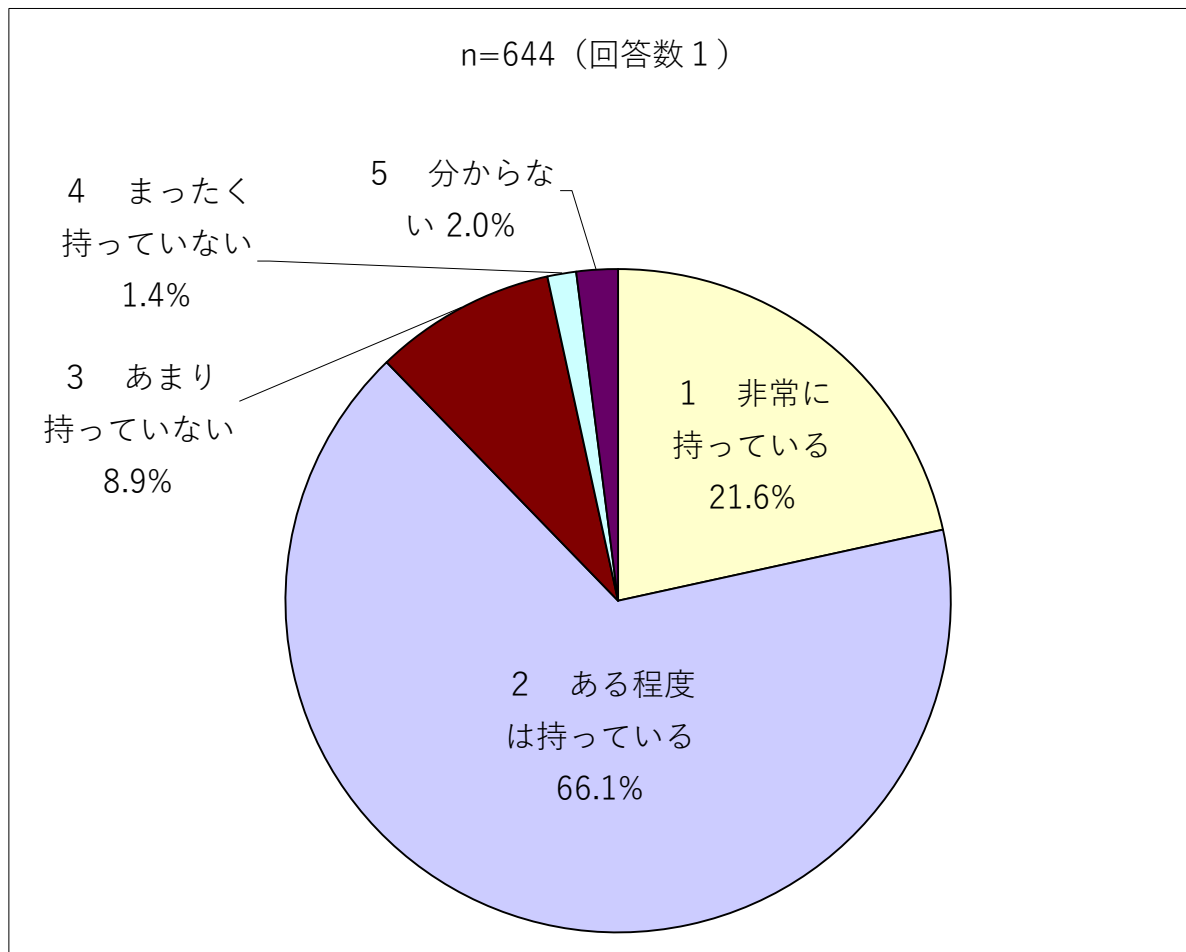
問5-2 問5で選択肢1または2を選択された方に伺います。その理由は何ですか。
(回答数は2つまで)



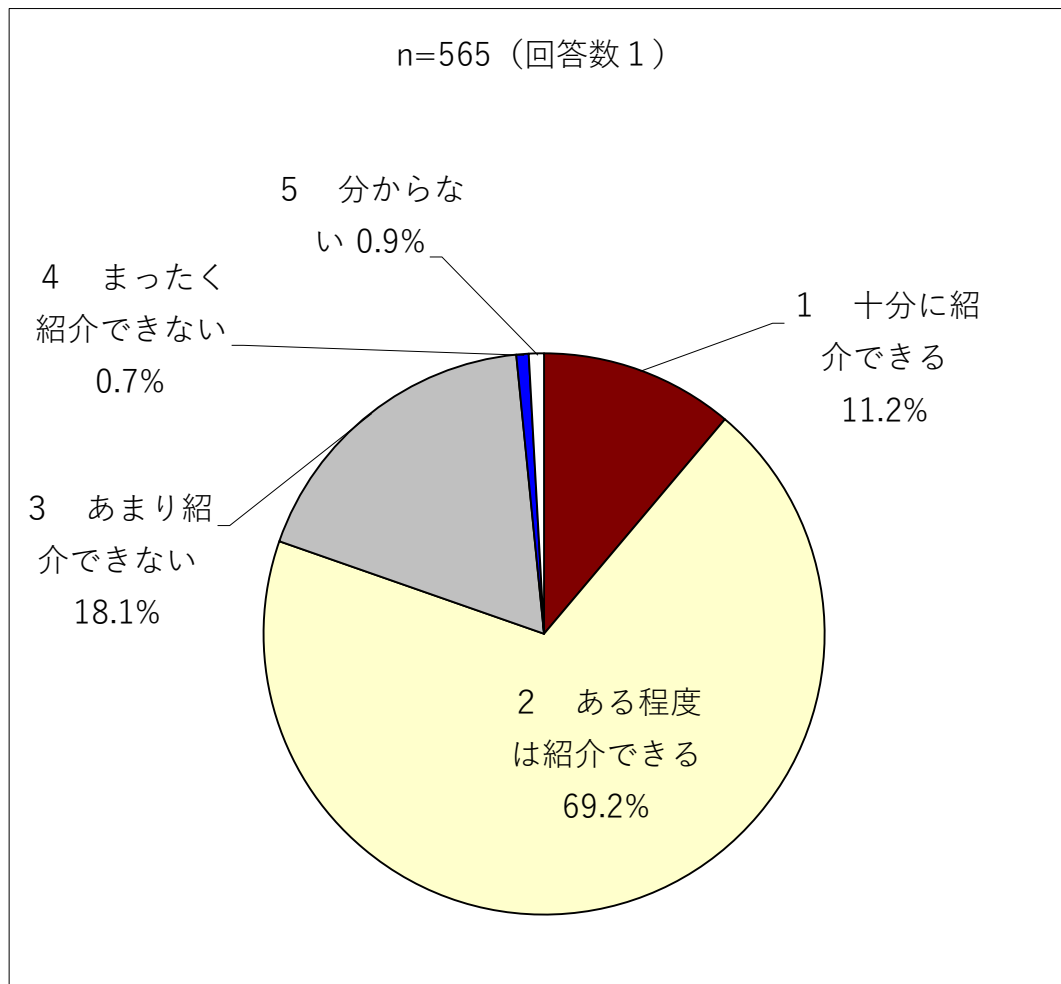
問5-3 問5で選択肢3または4を選択された方に伺います。その理由は何ですか。
(回答数は2つまで)



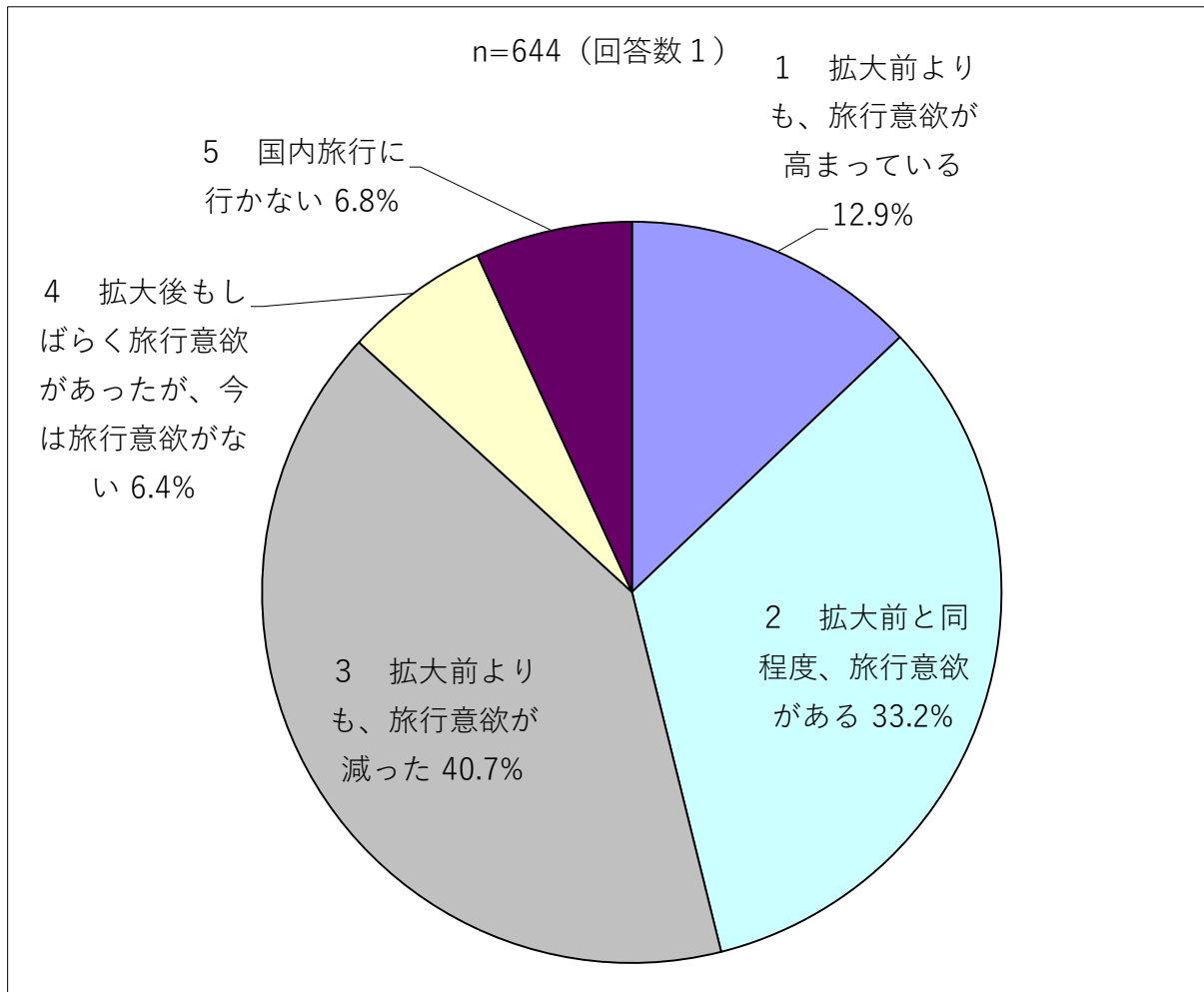
問6 あなたの住む地域に対して誇りや愛着を持っていますか。
(回答数は1つ)



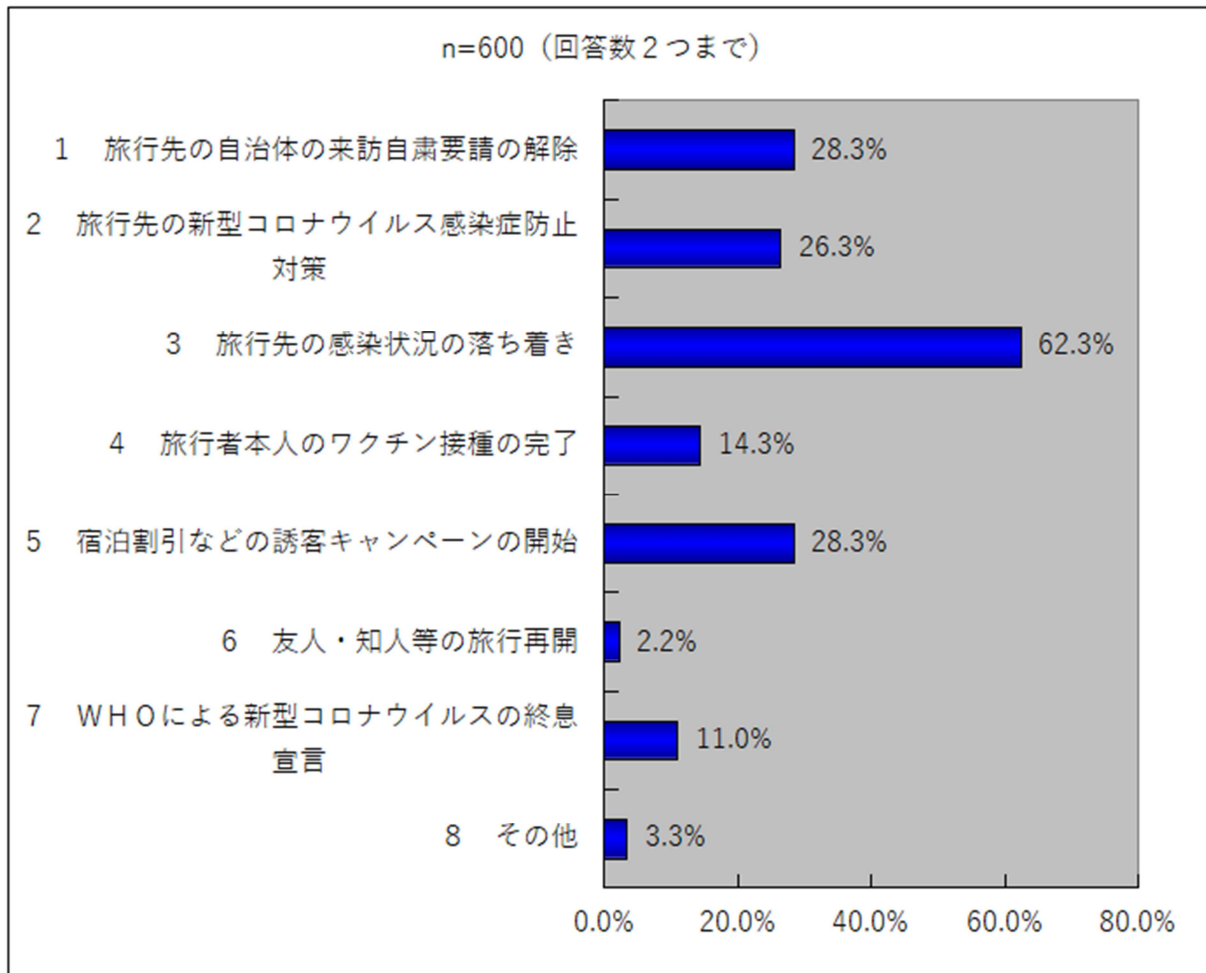
問6-2 問6で選択肢1または2を選択された方に伺います。あなたの住む地域を訪れた方に、地域の魅力を紹介できますか。(回答数は1つ)



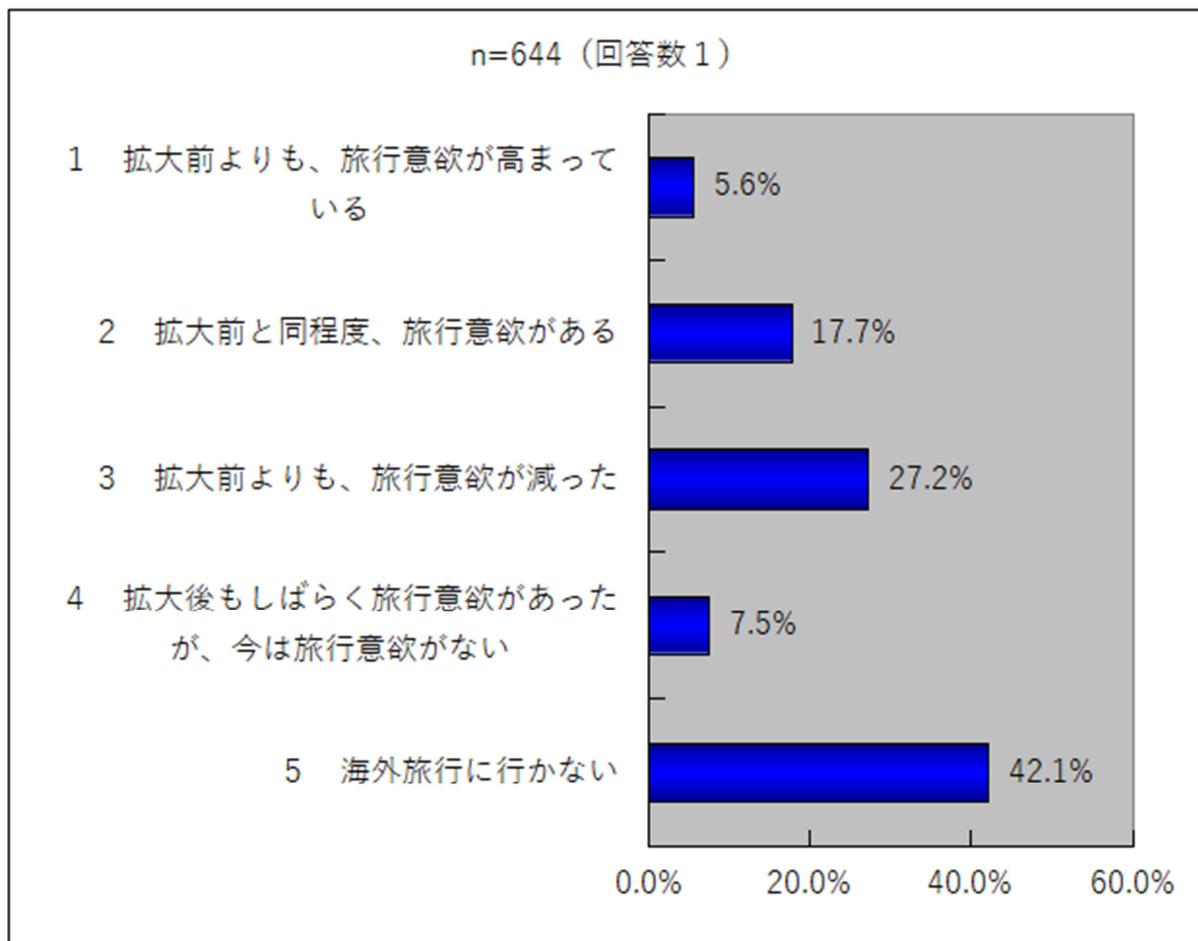
問7 新型コロナウイルス感染症の拡大前と現在で、国内旅行に対する気持ちに変化がありましたか。(回答数は1つ)



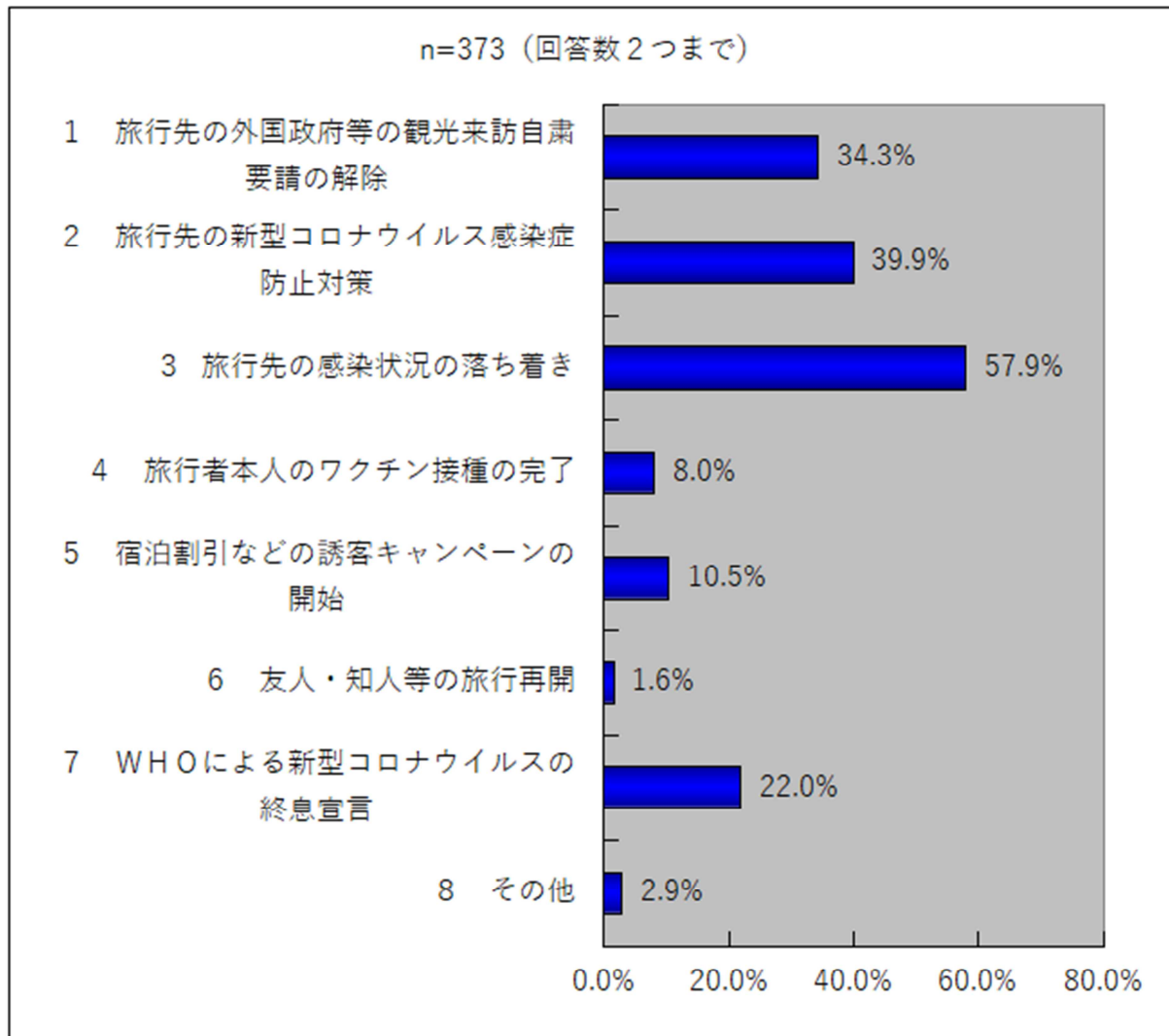
問7-2 問7で選択肢1～4を選択された方に伺います。今後国内旅行に行くかどうか判断する際、何を基準にすると思いますか。(回答数は2つまで)



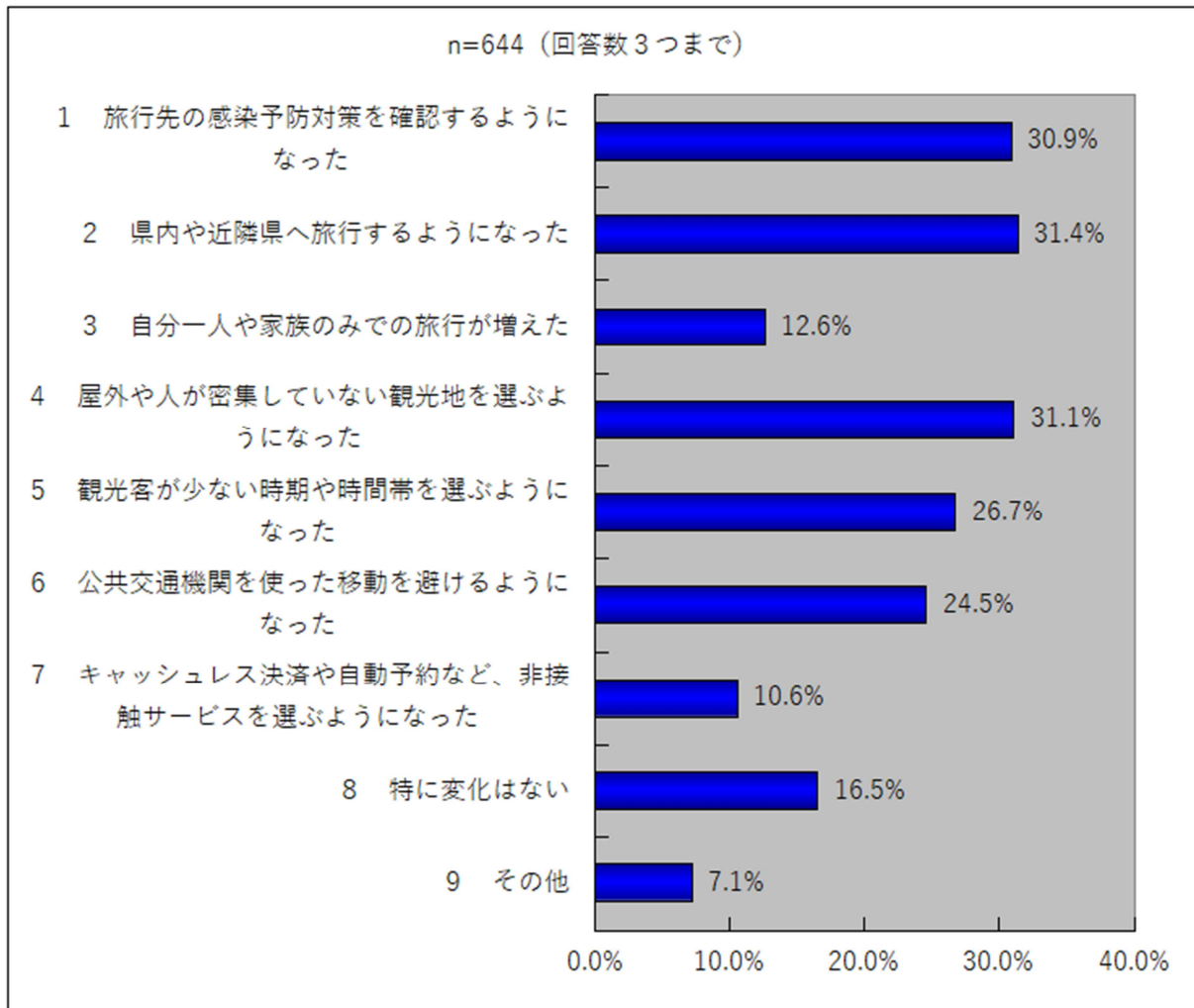
問8 新型コロナウイルス感染症の拡大前と現在で、海外旅行に対する気持ちに変化がありましたか。(回答数は1つ)



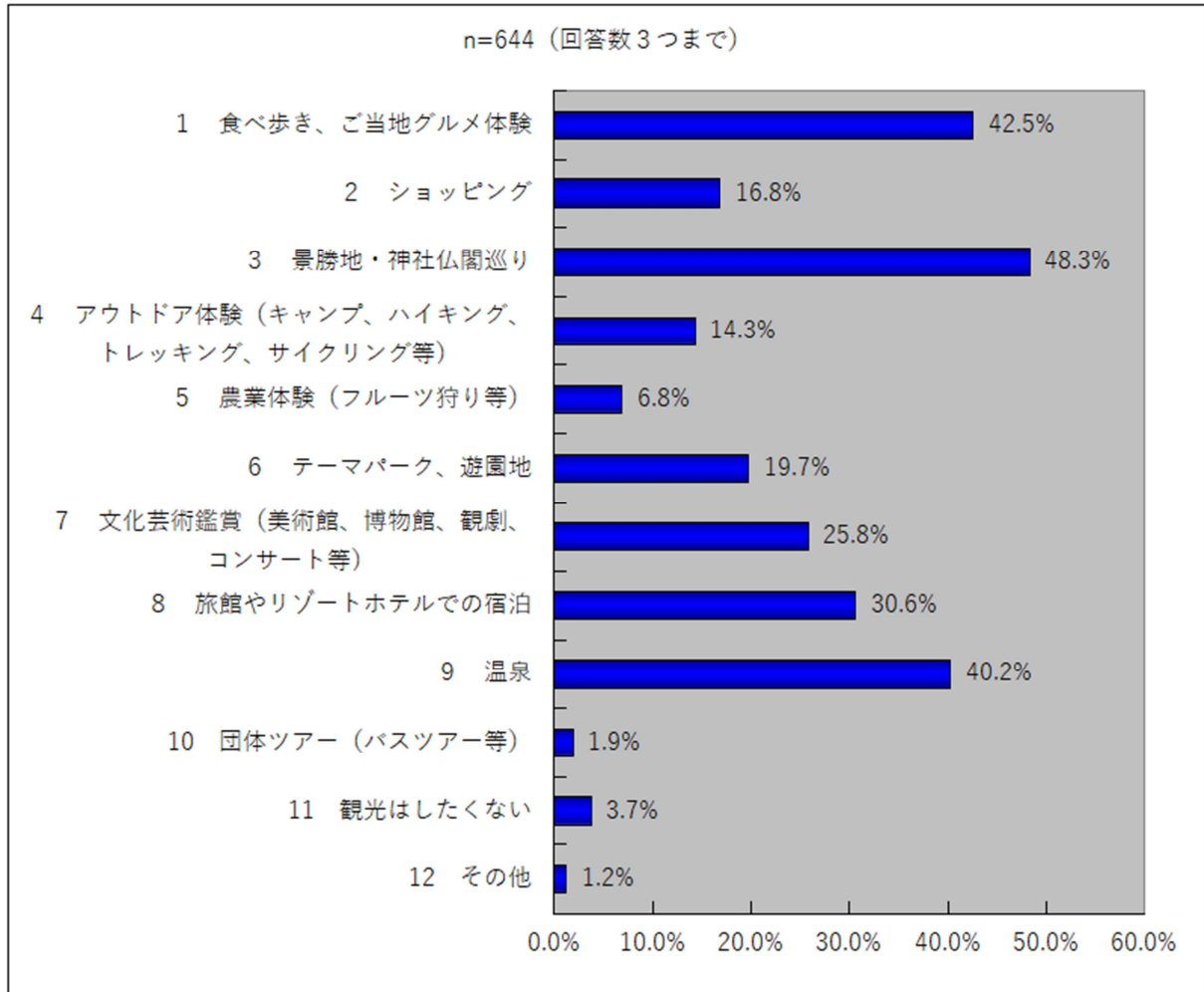
問8-2 問8で選択肢1～4を選択された方に伺います。今後海外旅行に行くかどうか判断する際、何を基準にすると思いますか。(回答数は2つまで)



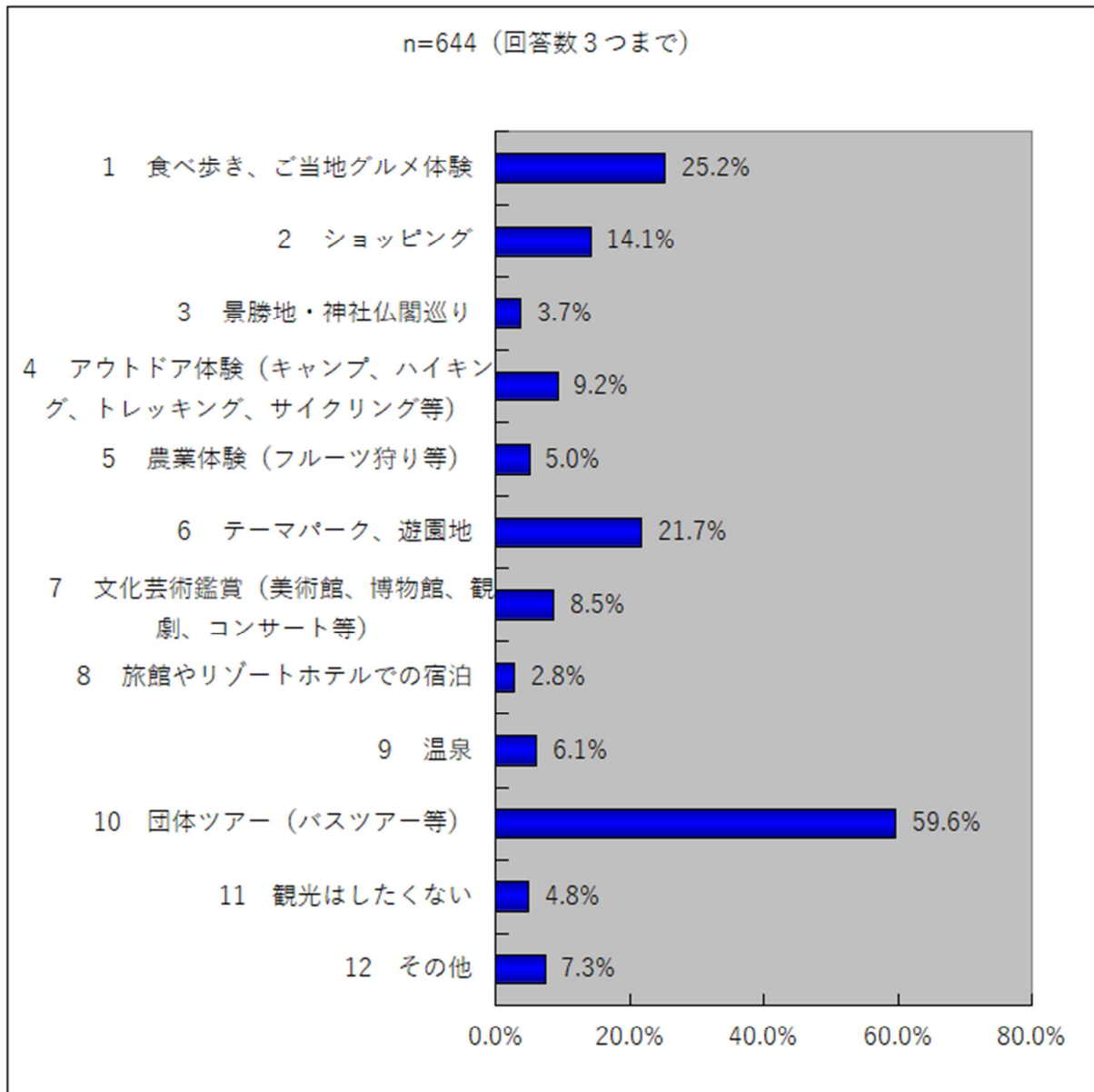
問9 新型コロナウイルス感染症の拡大で、旅行に関する意識や行動の変化はありましたか。(回答数は3つまで)



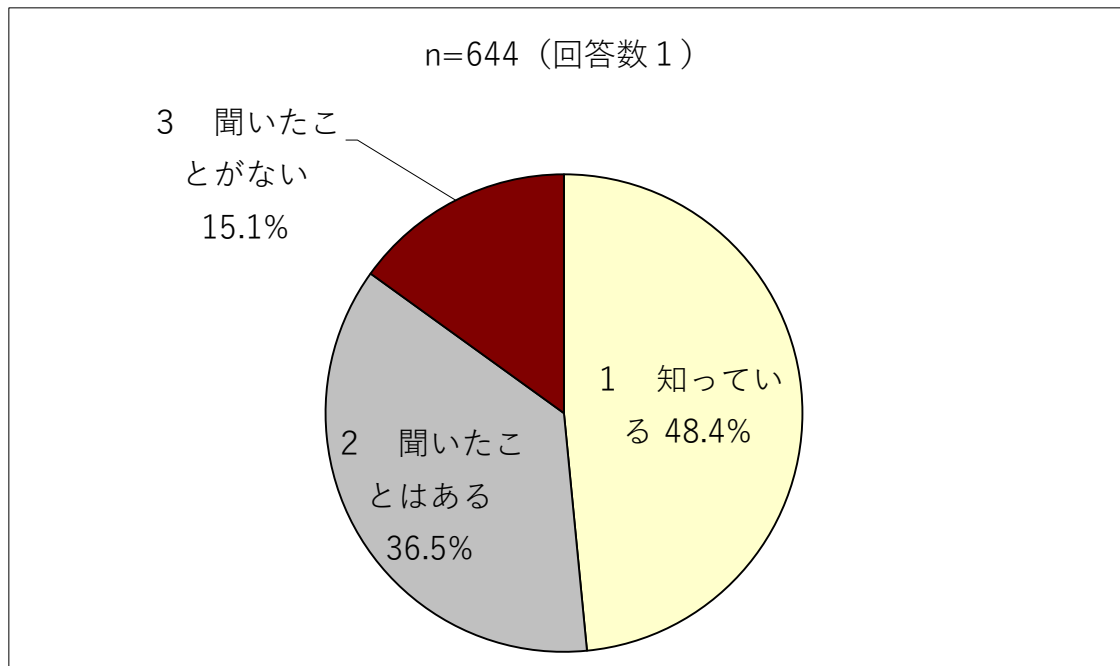
問10 今後どのような観光をしたいですか。(回答数は3つまで)



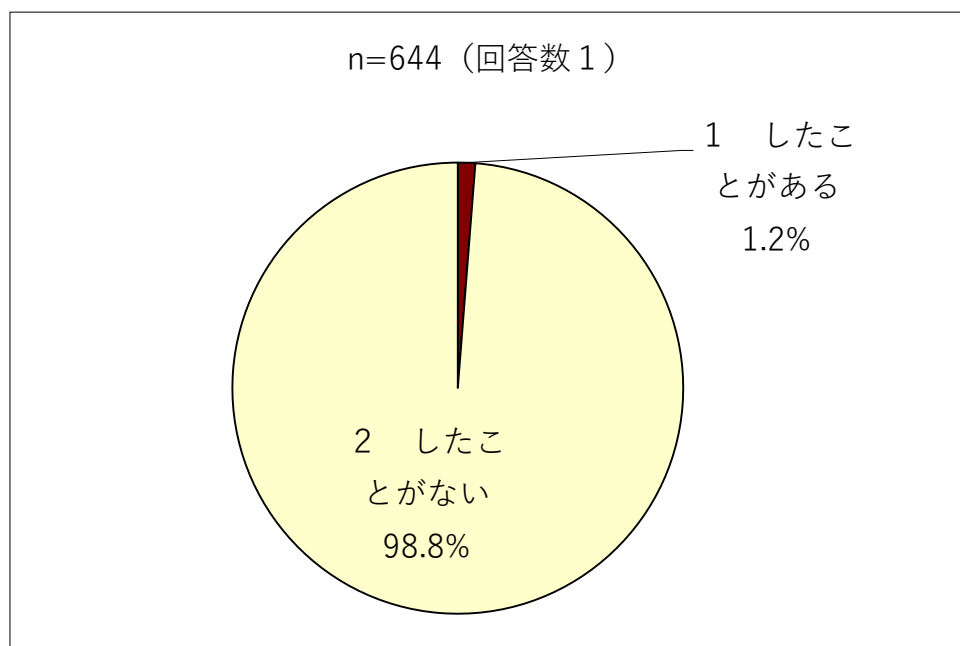
問 11 今後どのような観光を避けたいですか。(回答数は3つまで)



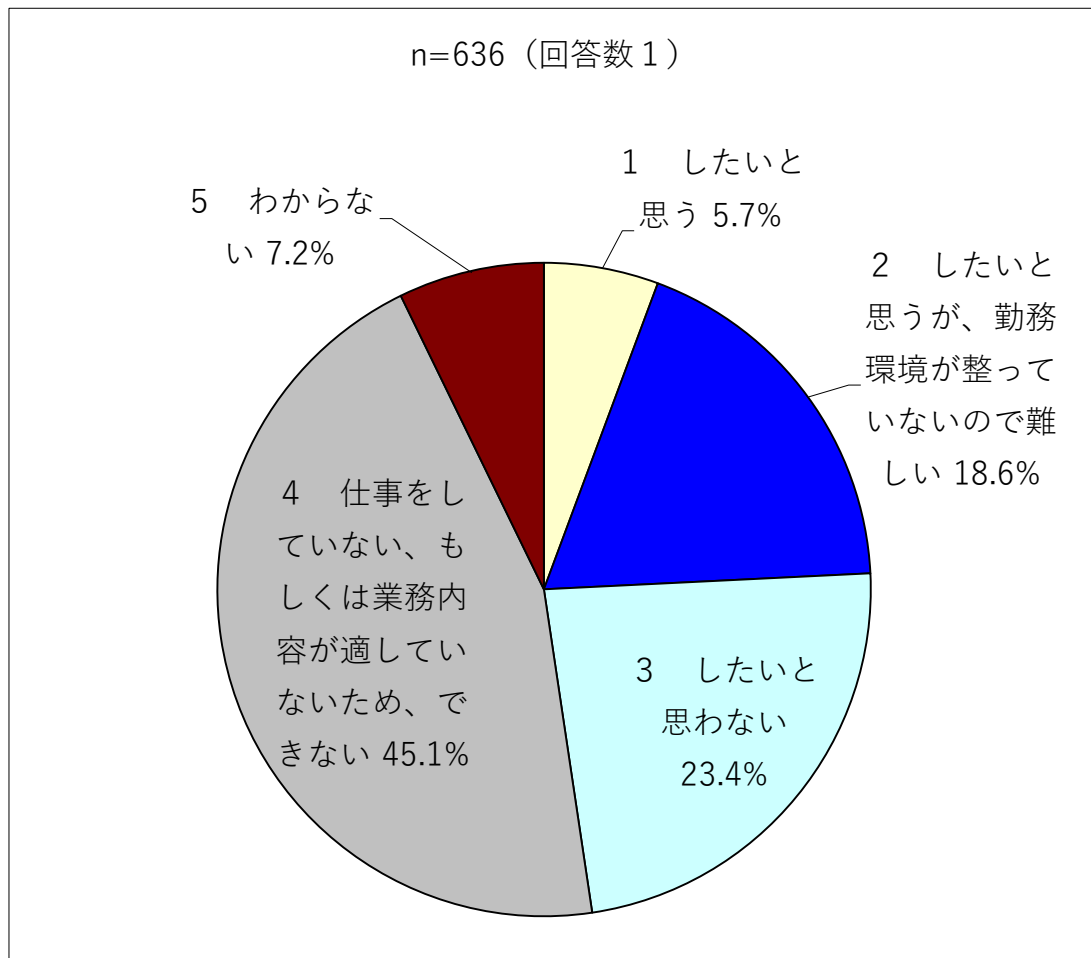
問 12 観光地などでリモートワークしながら休暇をとる「ワーケーション」(「ワーク(仕事) + バケーション(休暇)」を組み合わせた言葉)が注目を集めています、ワーケーションを知っていますか。(回答数は1つ)



問 13 ワケーションをしたことがありますか。(回答数は1つ)



問 13-2 問 13 で選択肢 2 を選択された方に伺います。今後ワーケーションをしてみたいと思いますか。(回答数は 1 つ)

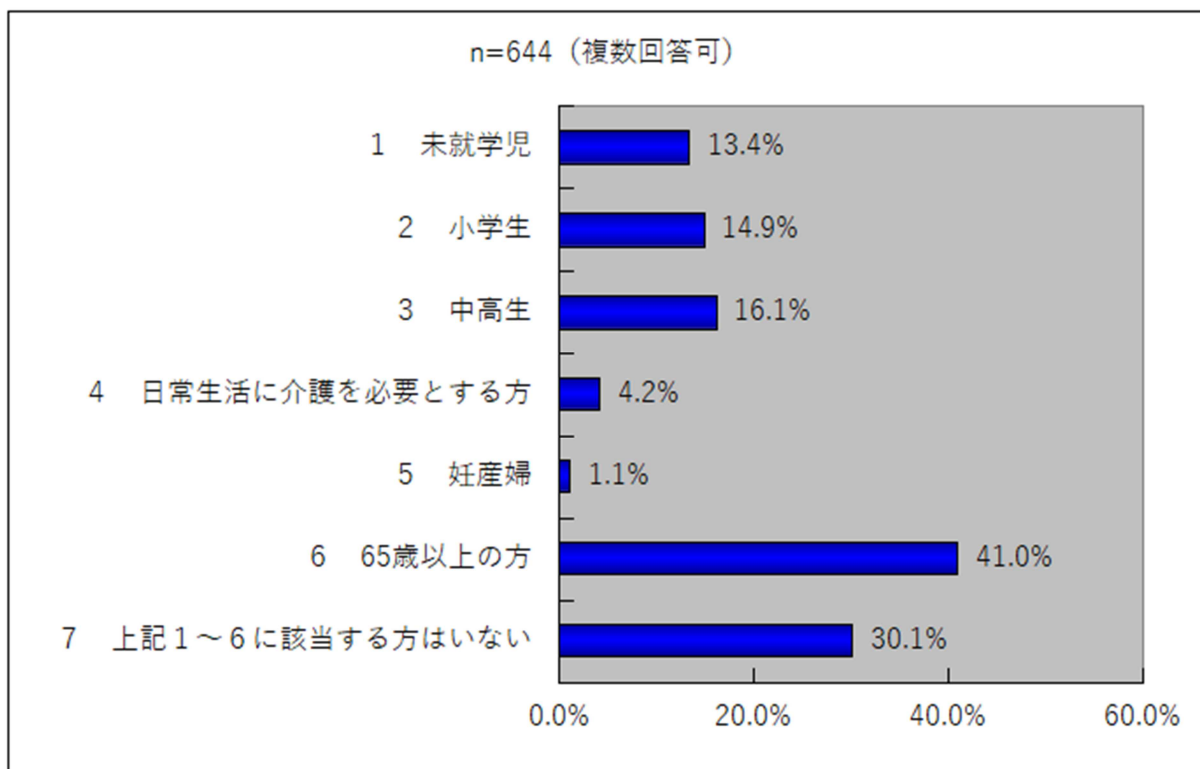


問 14 今後の県の観光施策に関して、ご意見やご提案等がありましたら、ご自由にお書きください。(500 字以内)

担当課名 観光政策課
電話 054-221-3617
FAX 054-221-3627
メールアドレス kankou2@pref.shizuoka.lg.jp

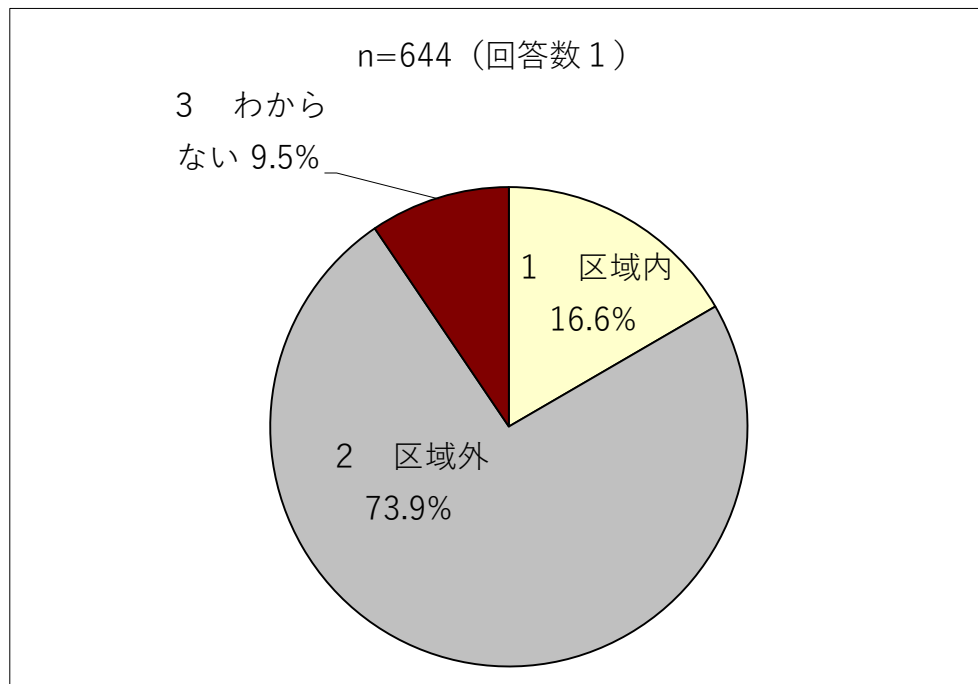
○南海トラフ地震についての県民意識調査－巨大地震についての基本的な考え方

問1 同居されている方のうち、次に該当する方がいますか。(複数回答可)



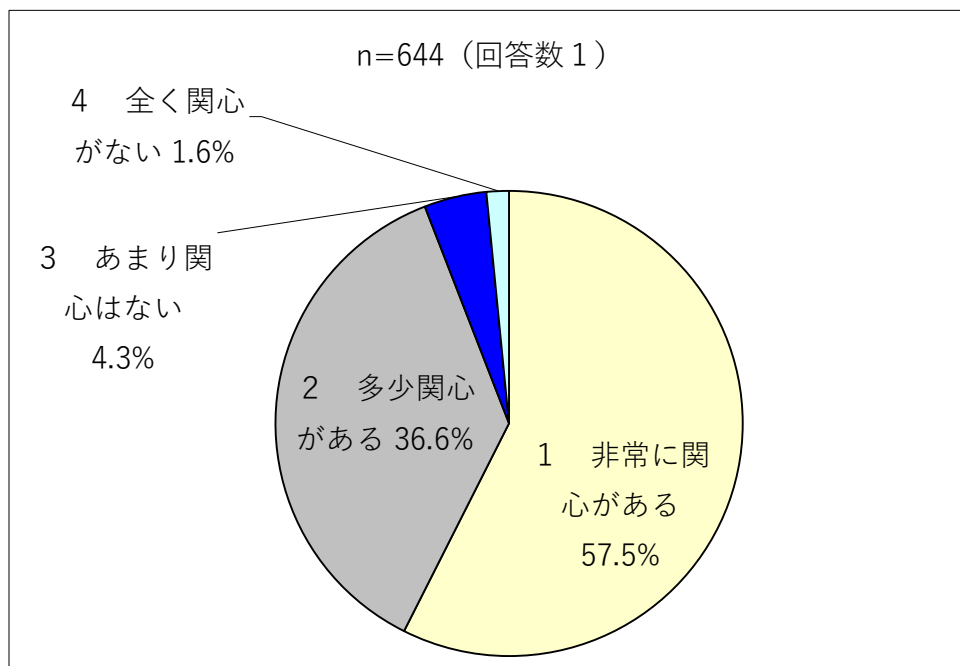
問2 あなたのご自宅は津波浸水想定区域内ですか。それとも区域外ですか。ご不明な方は、市町の防災マップ、又は、以下のLINKで津波浸水想定区域を確認することができます。(回答数は1つ)

<https://www.gis.pref.shizuoka.jp/?z=14&ll=34.809967%2C138.324478&t=roadmap&mp=11001&op=70&vlf=00080000000000000008>

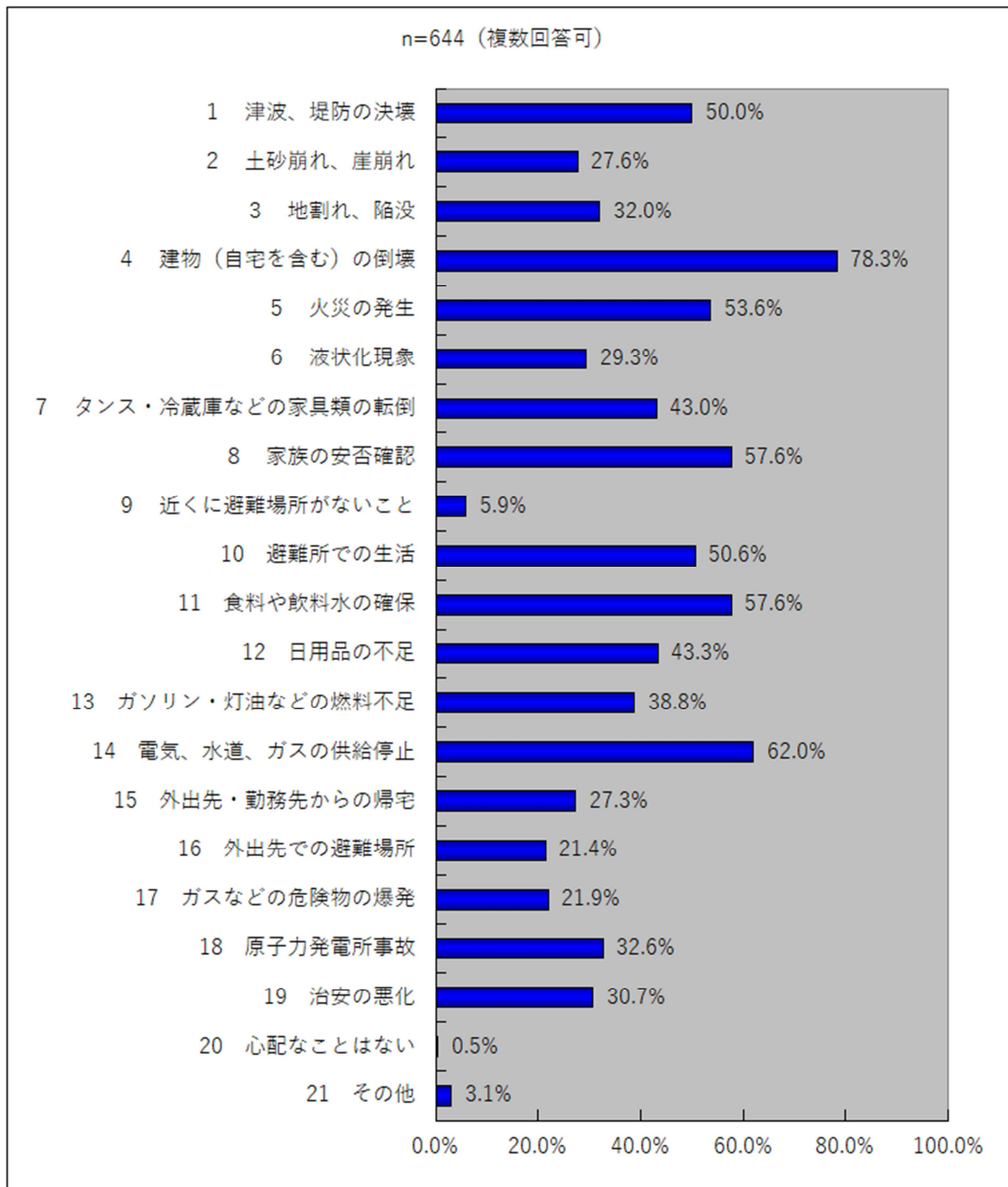


問3 あなたは現在、南海トラフ地震にどの程度の関心を持っていますか。(回答数は1つ)

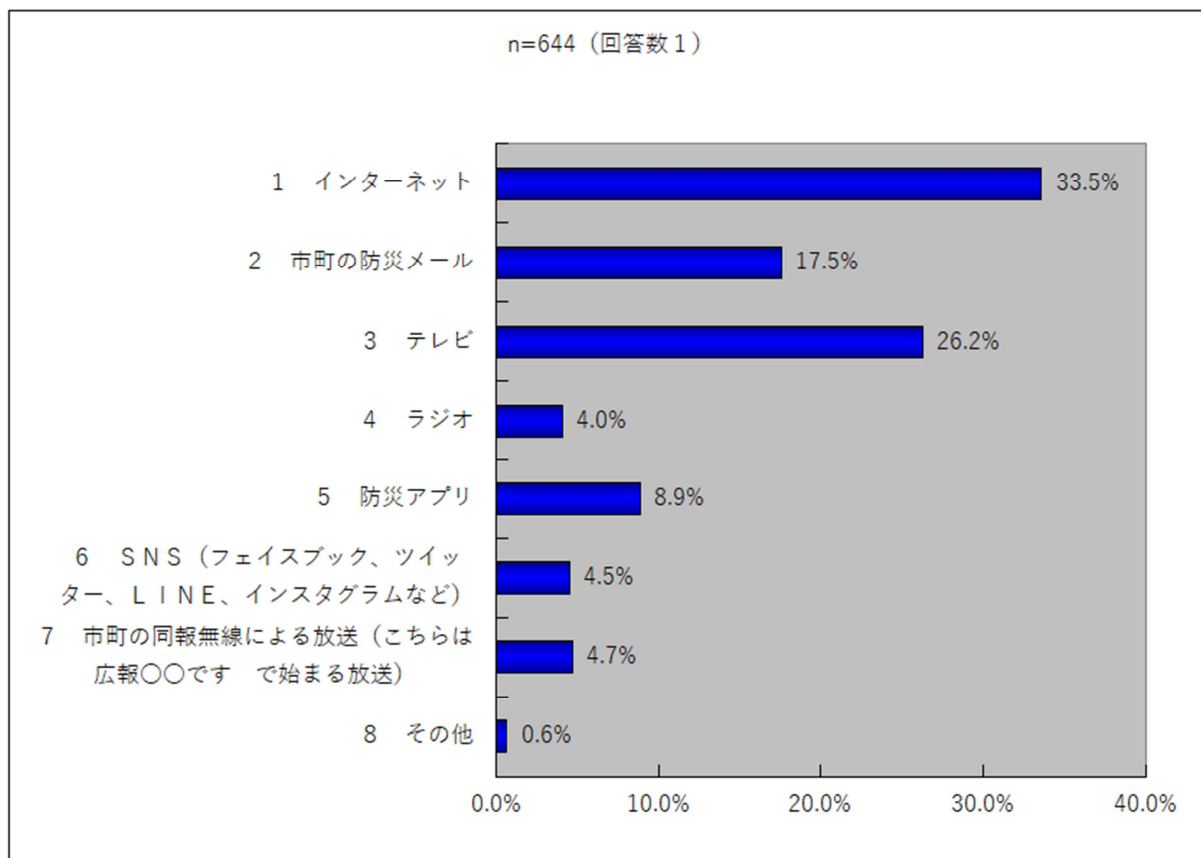
※「南海トラフ地震」は、関東地方から九州地方の広い範囲で強い揺れが発生し、静岡県内でも震度6弱から6強、一部では震度7となる可能性があります。また沿岸部では、3mを超える大津波が各地で発生し、一部では、20mを超える予想もされています。



問4 あなたは、南海トラフ地震が起きた場合、どのようなことが心配ですか。(複数回答可)

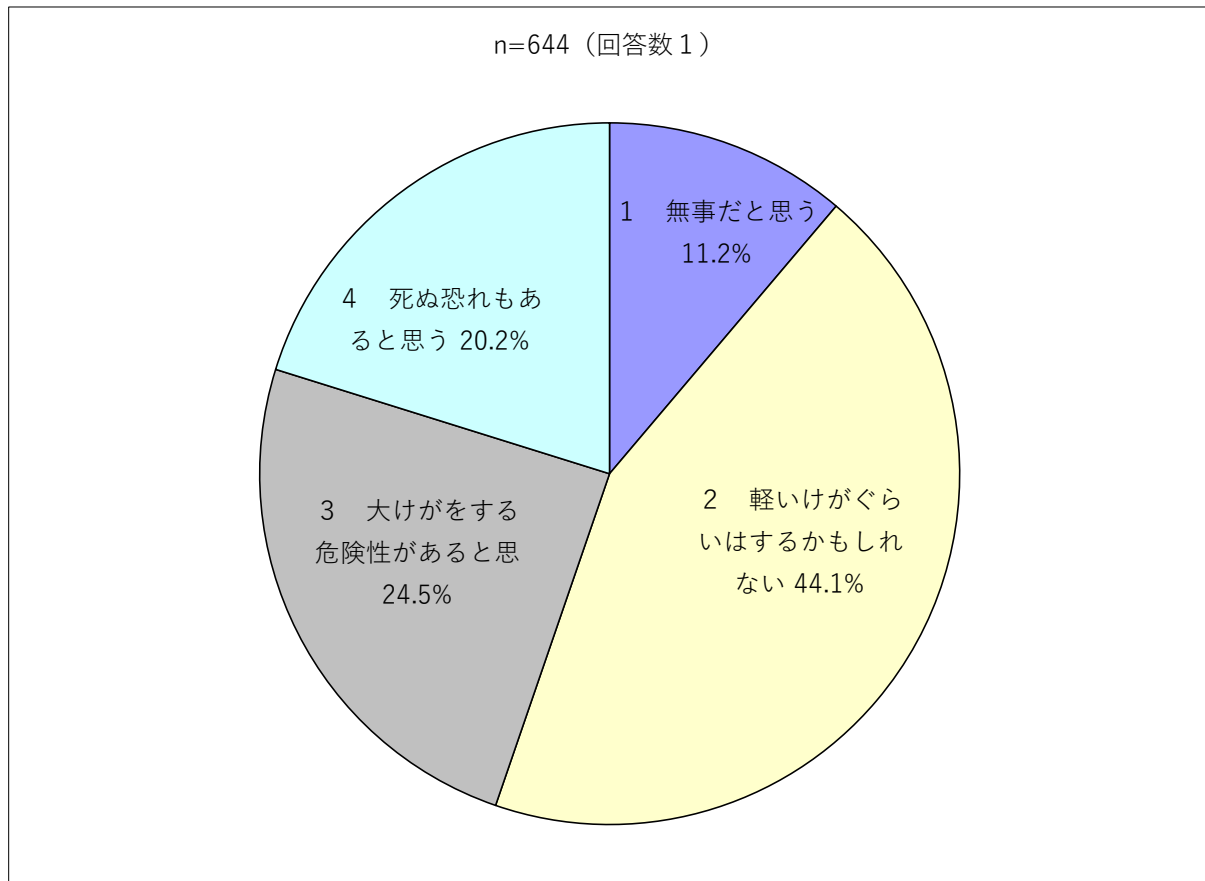


問5 日頃、大雨警報や避難情報など緊急時の防災情報を主にどのような手段で入手していますか。(回答数は1つ)



問6 以下の【前提条件】のような大きな地震が起きた場合、あなたは身を守ることができますか。(回答数は1つ)

【前提条件】突然、震度6強以上の地震(立っていることが困難な揺れ。家の中では固定していない家具類はほとんど倒れる。)が起きた場合を想像してお答えください。



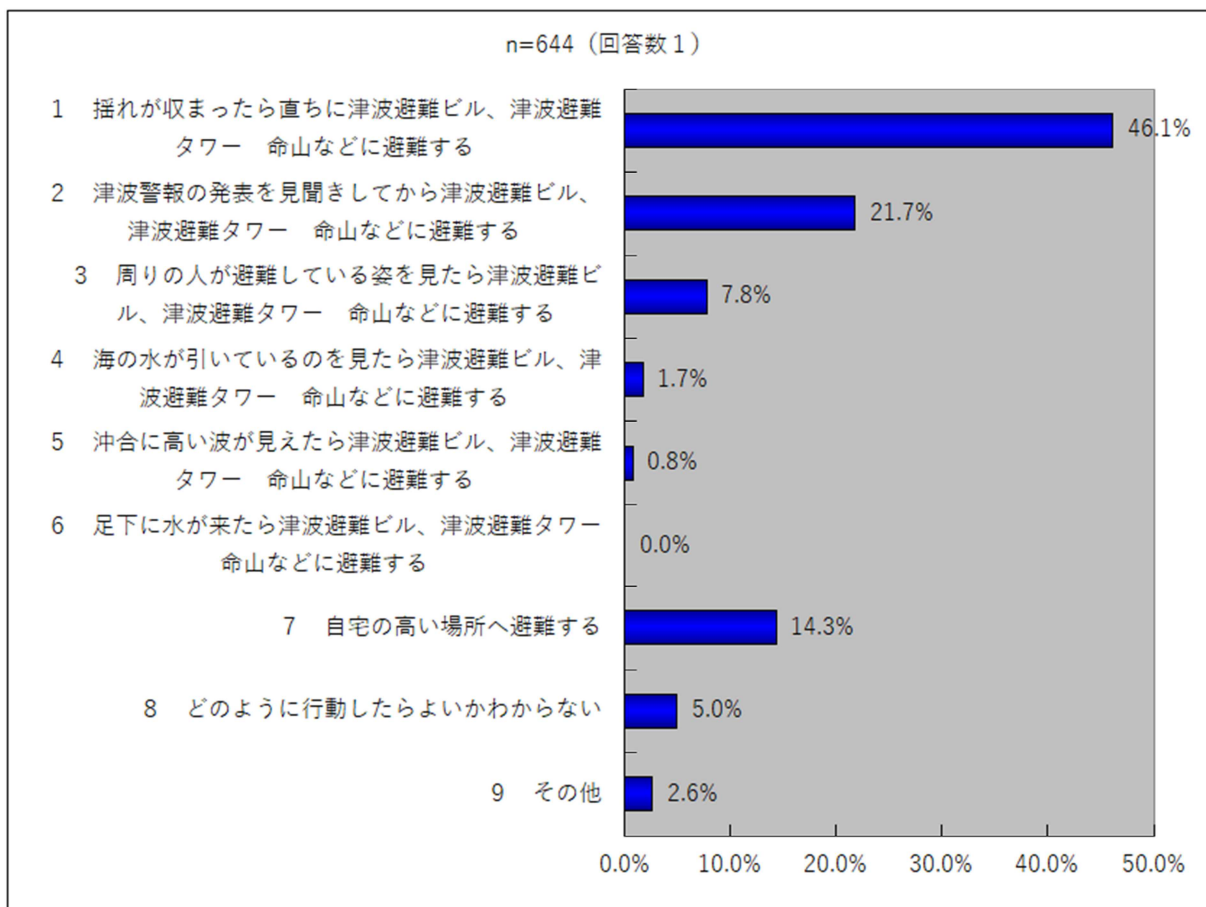
問7 津波に対する行動について伺います。浸水想定区域にお住まいの方は自宅や自宅周辺で地震にあった場合を想定してください。それ以外の方は沿岸部を訪れていて地震にあった場合を想定してください。【前提条件】のような大きな地震が起きた場合、あなたはどのように行動しますか。(回答数は1つ)

【前提条件】突然、震度6強以上の地震(立っていることが困難な揺れ。家の中では固定していない家具類はほとんど倒れる。)が起きた場合を想像してお答えください。

※(参考)平成25年6月に公表した静岡県第4次地震被害想定では、津波の到達時間は場所によっては最短で2分です。東日本大震災では地震発生から30分ほどで各地に大きな津波が到達したとされています。静岡県ではそれよりも早い時間で大きな津波が襲来する可能性があります。津波到達時間は以下のLINKで確認できます。地点をクリックすると到達時間が表示されます。

<https://www.gis.pref.shizuoka.jp/?z=14&ll=34.940692%2C138.413242&t=roadmap&mp=1802&op=70&vlf=-1>

避難を予定していた場所の破損、避難途中の道が塞がれ通ることができないなど、あらかじめ決めた行動ができないかもしれません。津波想定した避難行動においては様々な要因を考慮して考えておくことが必要です。



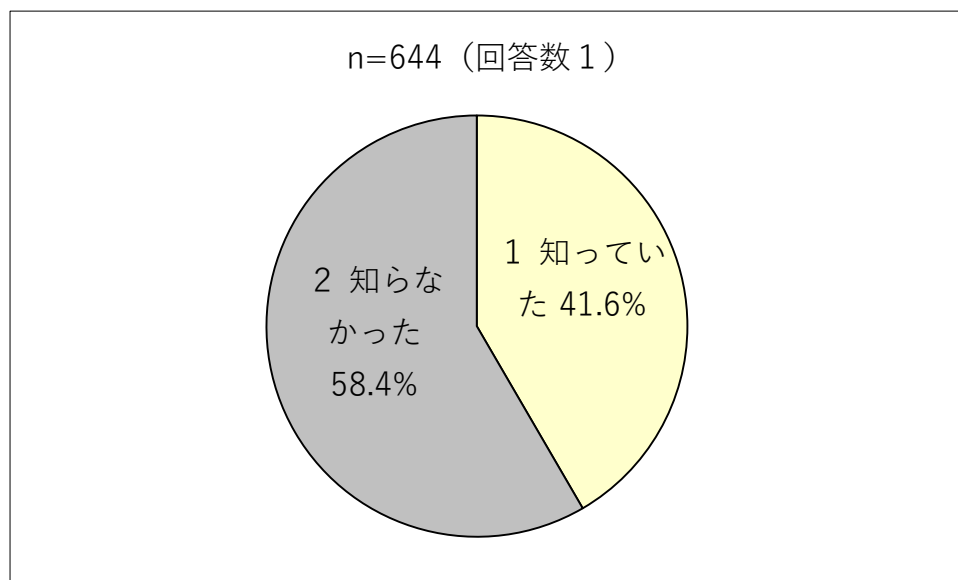
問8 【前提条件】のような大きな地震が起きた場合、救助・救急活動などの応急活動を迅速かつ円滑に行う必要があります。公共交通機関が運行を停止することも考えられる中、外出先や勤務先から一斉に帰宅を始めてしまうと、緊急車両の通行を妨げ、応急活動に支障をきたすことが懸念されます。そのため、外出先や勤務先にいる時に【前提条件】にあるような大きな地震が起きた場合は、「むやみに移動を開始しない」ことが原則です。あなたは、この原則を知っていましたか。(回答数は1つ)

【前提条件】突然、震度6強以上の地震(立っていることが困難な揺れ。家の中では固定していない家具類はほとんど倒れる。)が起きた場合を想像してお答えください。

※(参考)静岡県では、大規模な災害が発生した際に緊急車両が通行する新東名高速道路や東名高速道路、国道や主要な県道などの幹線道路を「緊急輸送路」に指定しています。

※(参考)企業等にお勤めの方が勤務先にいる時に大きな地震が発生した場合は、企業の施設内に一定期間待機するなど、企業がルールを定めている場合がありますので、これに従ってください。

また、繁華街など外出時に大きな地震が発生した場合は、近くの公園などの広く安全な場所に避難する必要がありますが、消火活動や救助・救急活動の妨げにならないよう、徒歩で移動するようにしましょう。



問9 災害が発生したときの避難のため、市町はあらかじめ緊急避難場所や避難所を指定しています。また、緊急避難場所には災害種別ごとに指定があります。あなたは知っていますか。(回答数は1つ)

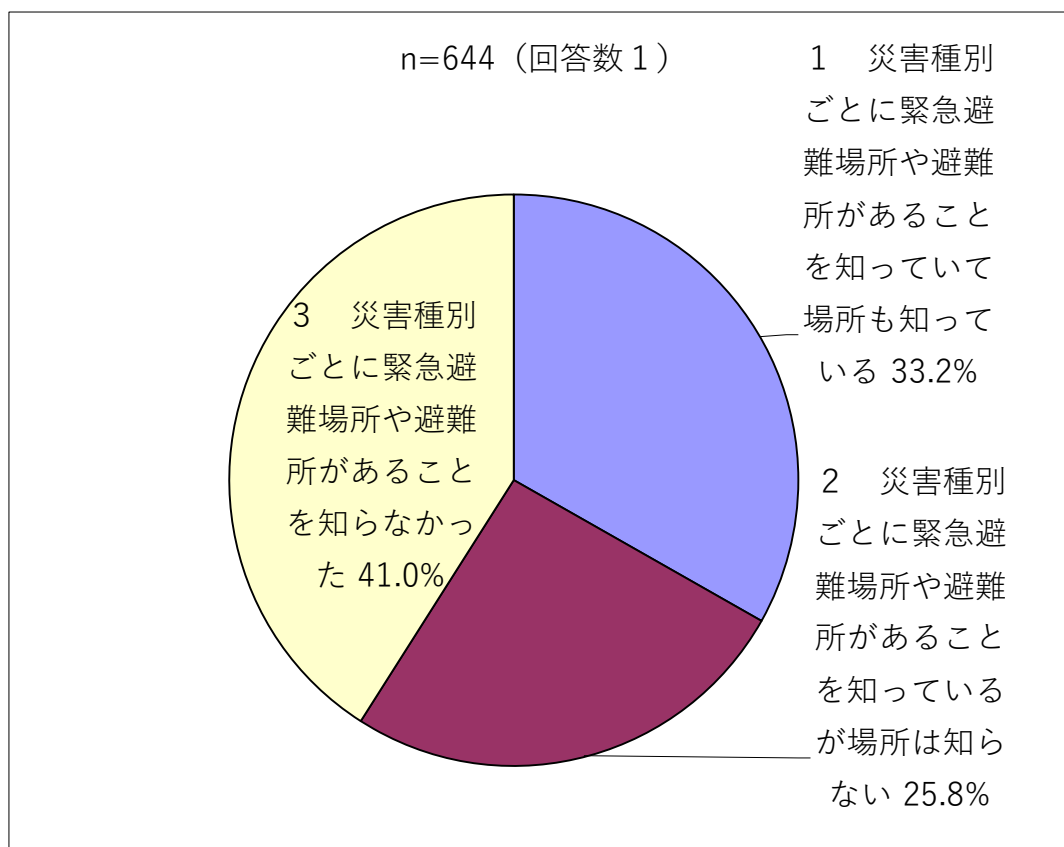
※(参考) 避難場所の災害種別については、防災マップによる確認、避難場所周辺に掲げられた看板で確認するか、お住まいの市町の防災担当課へお問合せください。また、静岡県総合防災アプリ「静岡県防災」でも確認ができます。



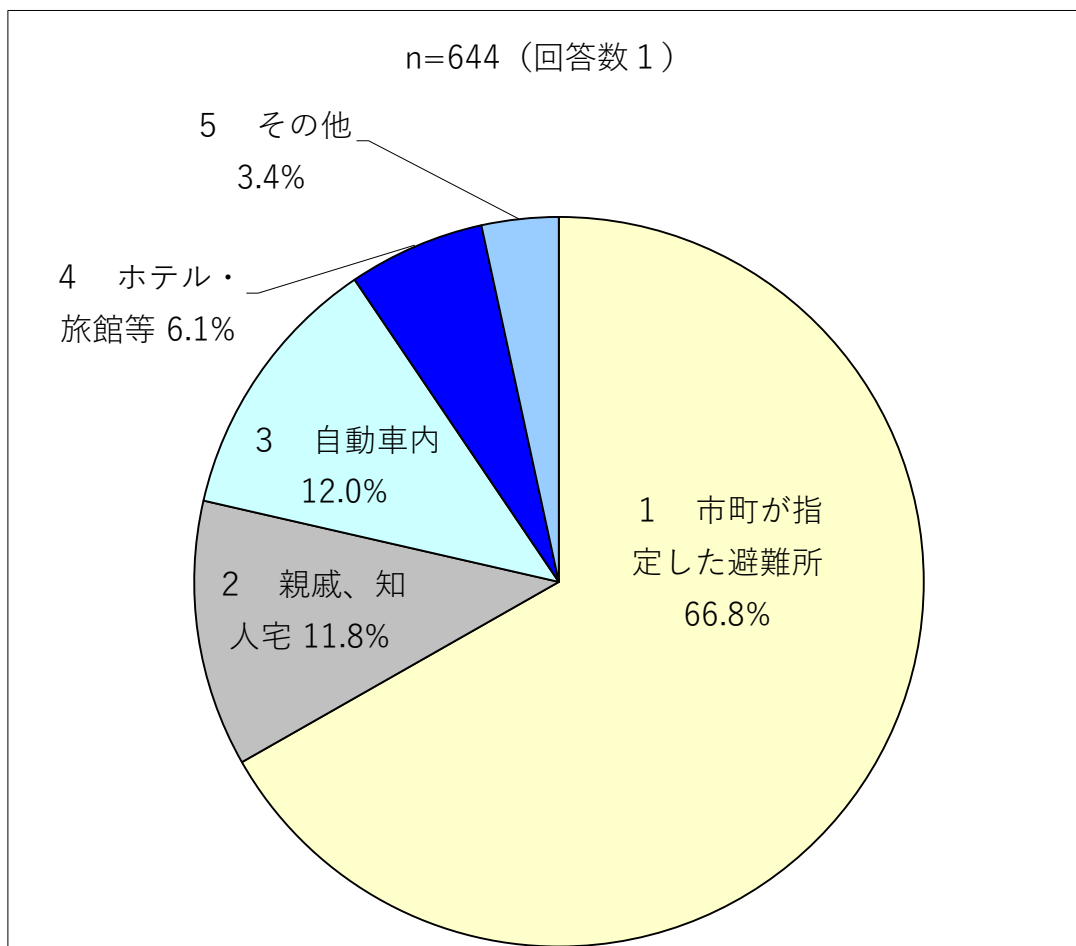
災害種別が表示された



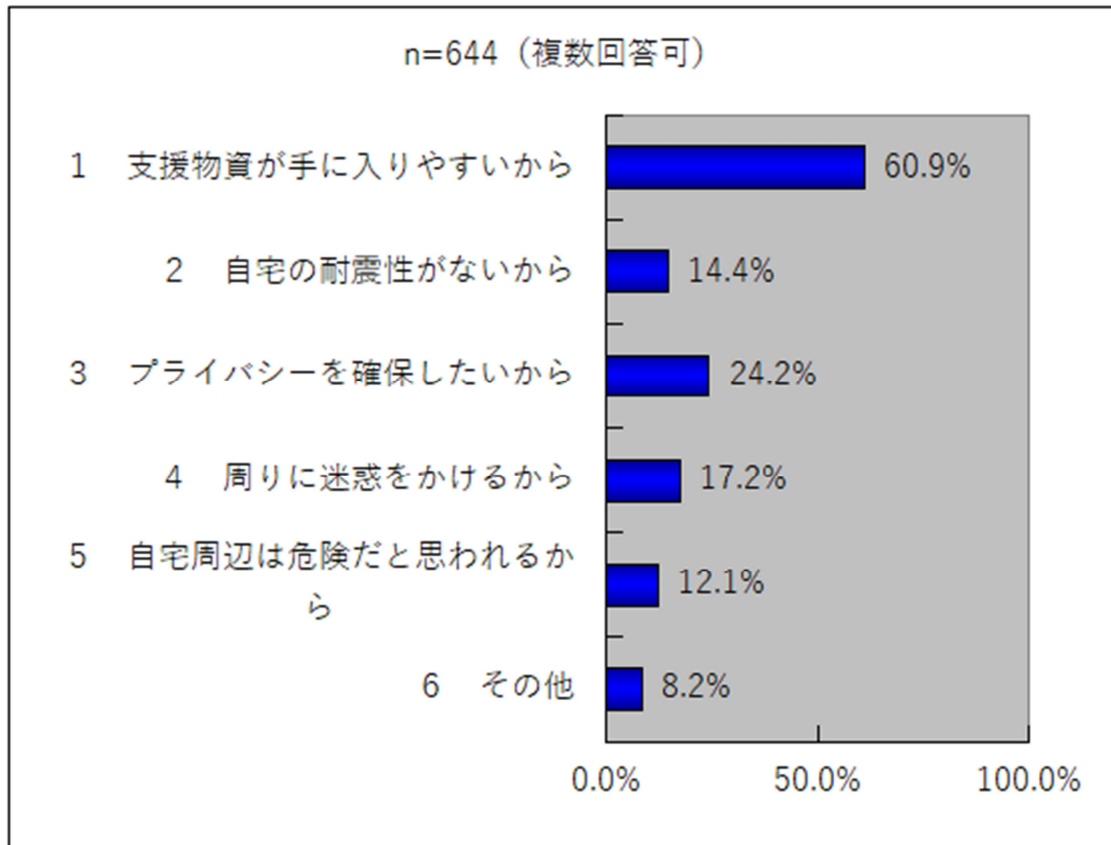
災害種別が表示された看板



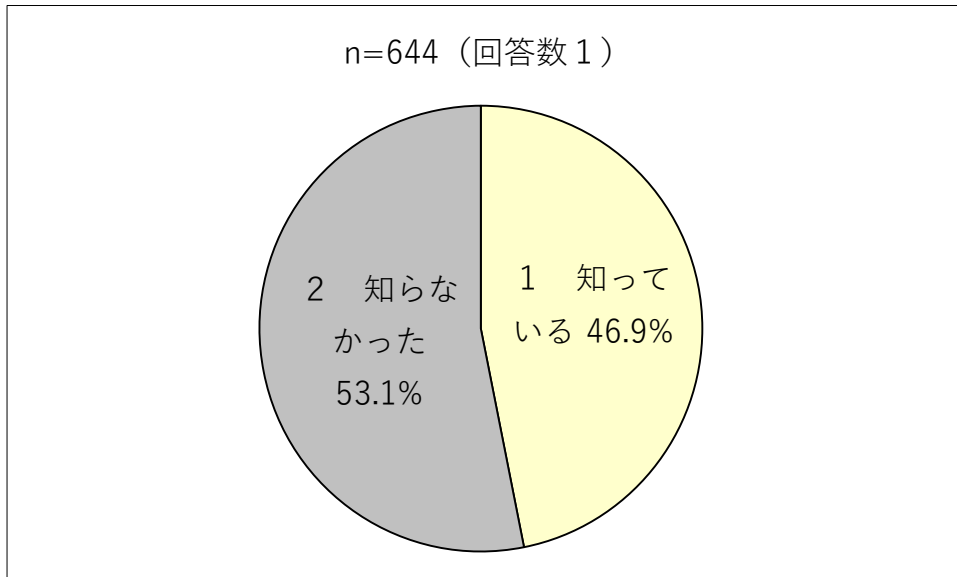
問 10 災害発生後、一定期間避難が必要となった場合に、避難先として選択する可能性が高いものを教えてください。(回答数は1つ)



問 10-2 問 10 の避難先を選択した理由は何ですか。(複数回答可)

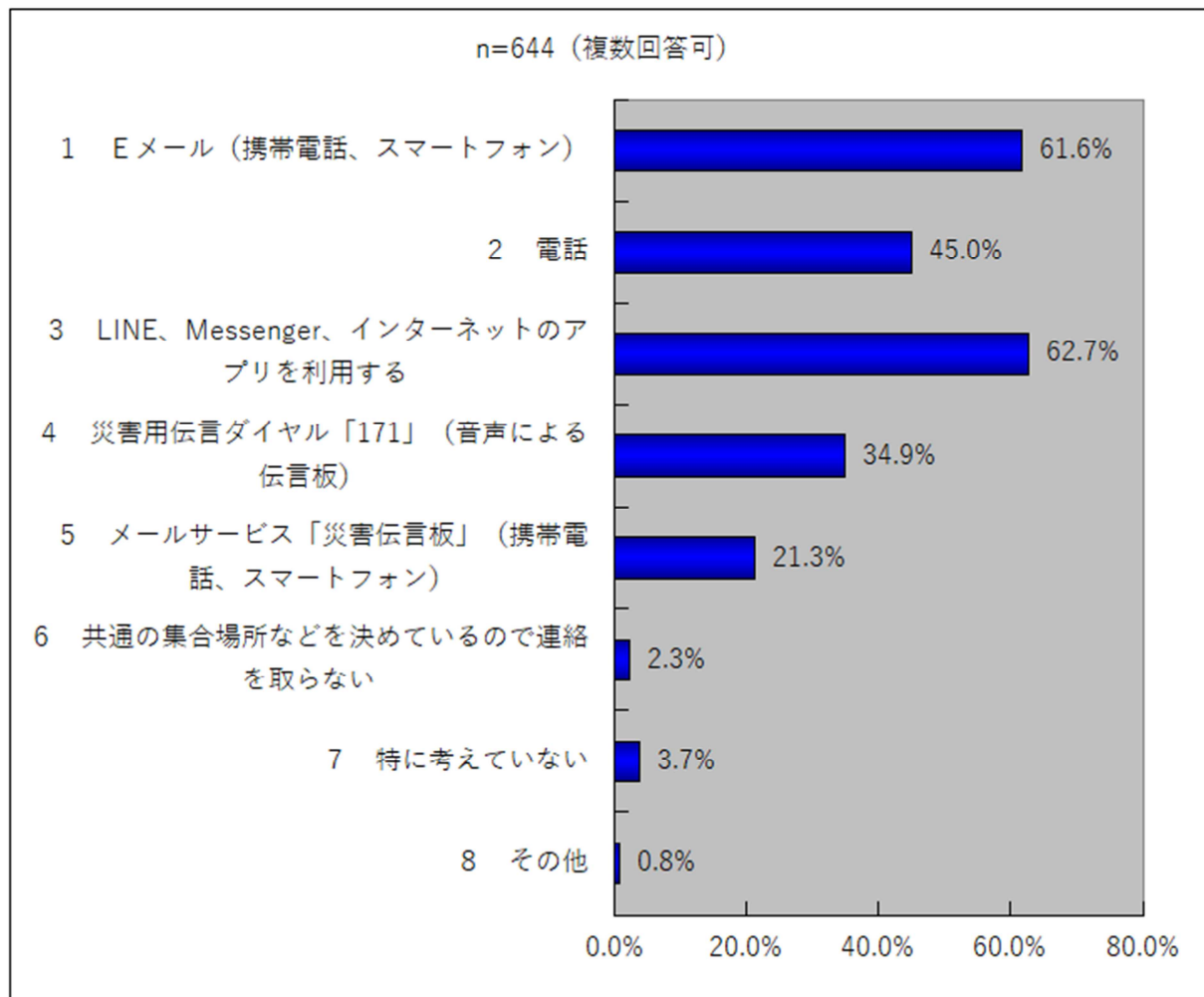


問 11 避難所で一定期間避難生活を送る場合、避難所利用者が主体となって避難所運営を行うことを知っていますか。(回答数は1つ)



問 12 地震が起きた際に、離れている家族と安否を確認する手段として何を使うことを考えていますか。(複数回答可)

※南海トラフ地震発生時には通信機器の破損や回線が混雑し、連絡がとれなくなる場合があります。日頃から複数の手段で家族の安否ができるように家庭内で訓練をしておきましょう。



問 13 「南海トラフ地震臨時情報」について知っていますか。(回答数は1つ)
 ※南海トラフ地震による被害防止・軽減のため、気象庁では平成元年5月31日から「南海トラフ地震臨時情報」の運用を開始しています。詳しくはこちらをご覧ください。
<http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/e-quakes/topics/shirumanabushiraberu/documents/guidebook1024shuusei.pdf>

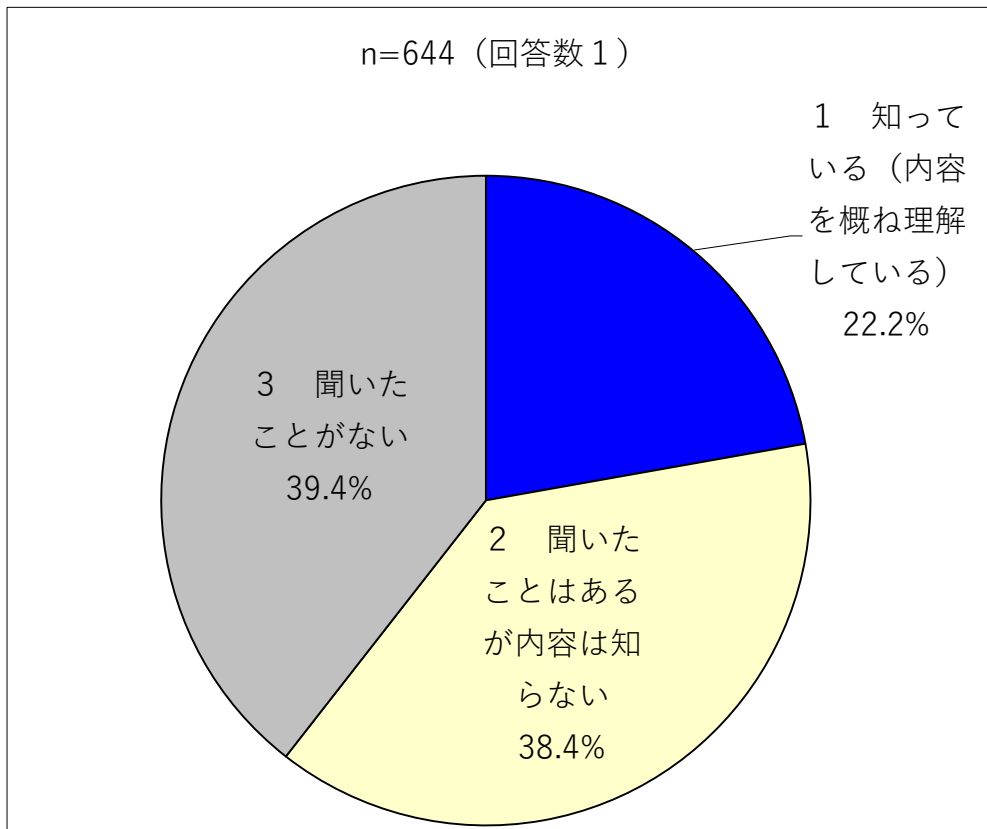
「南海トラフ地震臨時情報」の運用が開始されました

南海トラフ沿いで大規模な地震が発生する可能性が高まった場合に発表される「南海トラフ地震臨時情報」。発表されるタイミングや、それに応じた防災対応を知り、大規模地震の発生に備えましょう。

南海トラフ地震臨時情報が発表されなくても、大規模な地震が発生することがあります。



*地震への備えの例：避難場所や避難経路の確認、家具の固定、水や食料の備蓄など



問 14 今後、県や市町が行う防災対策について、要望がありますか。(500 字以内)

担当課 危機管理部危機情報課

電話番号 054-221-3366

F A X 054-221-3252

メール boujou@pref.shizuoka.lg.jp